

公共施設【教育施設】の老朽化について
考えるアンケート調査

報告書

目 次

I	調査実施概要	1
II	回答者の属性	3
III	市の公共施設の老朽化の取り組みについて	4
IV	教育施設について	5
V	調査結果まとめ	24
VI	調査表	29

I 調査実施概要

1 調査目的

本市の60%以上の公共施設が築30年を経過しており、今後20年間で一斉に更新時期を迎えることが見込まれている。

社会環境の大きな変化に直面する本市にとって、全ての公共施設を現状規模のまま維持管理していくことは極めて困難である。

この課題を解決するためには、市民の意見を伺いながら進めていきたい。

2 調査期間

平成28年9月1日～平成28年9月26日

3 調査設計・方法

調査対象	市内在住18歳以上の男女
標本数	3,000人
抽出台帳	住民基本台帳
抽出方法	無作為抽出
方法	郵送配布・回収
督促状	無し
その他	参考資料としてホームページでも実施

4 回収結果

標本数	3,000人
回収数	696件
回収率	23.20%

5 報告書記載事項

比率はすべて、各設問の有効回答数に対する百分率(%)を示している。

比率は、小数点第1位を四捨五入し示している。そのため、比率の合計が100%にならない場合がある。

本文やグラフ・表中の選択肢表記は、語句を簡略化している場合がある。

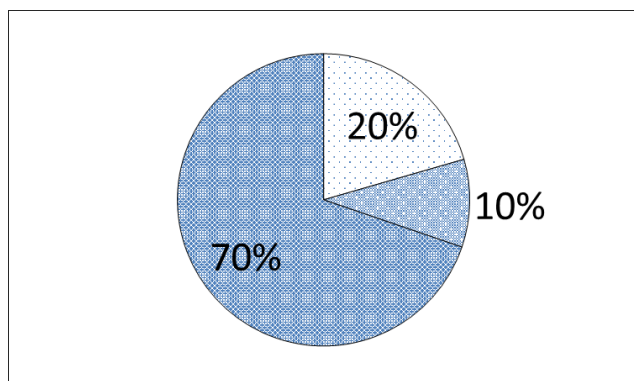
グラフ中の比率表記は、0%を省略している場合がある。

6 調査項目

調査項目
市の公共施設の老朽化の取組み
既存施設の情報や建替えにかかる費用推計
公共施設の現状と課題
ワークショップなど市民と問題意識を共有し検討をする場
教育施設について
学校ボランティア活動への参加
学校はどのような役割を果たしているか
地域における学校の役割で重要なもの
学校施設への今後の対応
教育環境の充実に向けた取り組み(小規模校・大規模校)
学校に一番必要なこと
通学距離(小学校・中学校)
希望する学校へ就学を認める制度(小学校・中学校)
1学年あたりの学級数(小学校・中学校)
学級編成について
属性
小学生の保護者
中学生の保護者
その他
居住地域

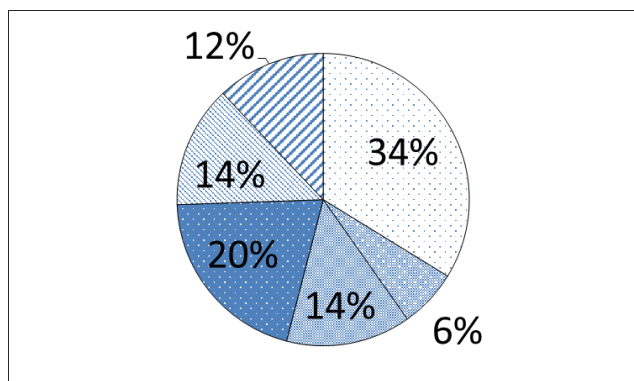
Ⅱ 回答者の属性

問 24 あなたが回答する立場をお答えください



小学生の保護者	「20%」
中学生の保護者	「10%」
その他	「70%」

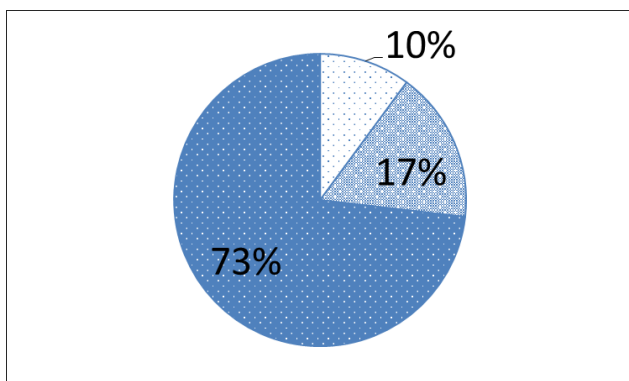
問 25 あなたが住んでいる地域をお答えください



上尾地区	「34%」
平方地区	「6%」
原市地区	「14%」
大石地区	「20%」
上平地区	「14%」
大谷地区	「12%」

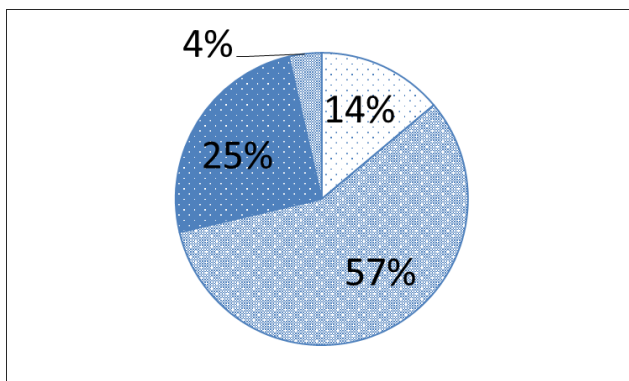
Ⅲ 市の公共施設の老朽化の取組みについて

問1 既存施設の情報や建替えにかかる費用推計について、市の取組みをご存知でしたか



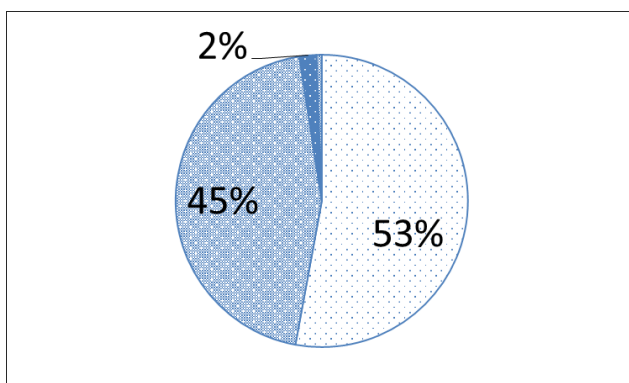
読んだことがある 「10%」
知っているが読んだことはない 「17%」
知らなかった 「73%」

問2 公共施設の現状と課題について、どのくらい関心をお持ちですか



大いに関心がある 「14%」
どちらかと言えば関心がある 「57%」
どちらかと言えば関心がない 「25%」
まったく関心がない 「4%」

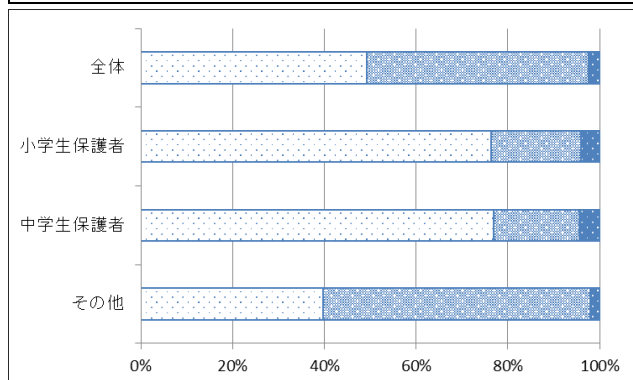
問3 ワークショップなど市民と問題意識を共有し検討する場について



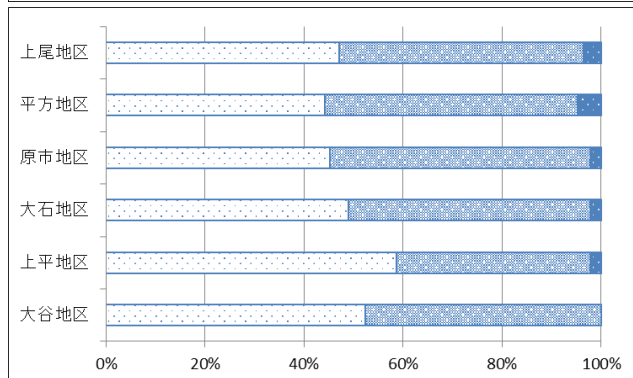
継続して実施すべき 「53%」
どちらかと言えば実施した方がよい 「45%」
実施しない方がよい 「2%」

IV 教育施設について

問4 学校ボランティア活動へ参加したことはありますか



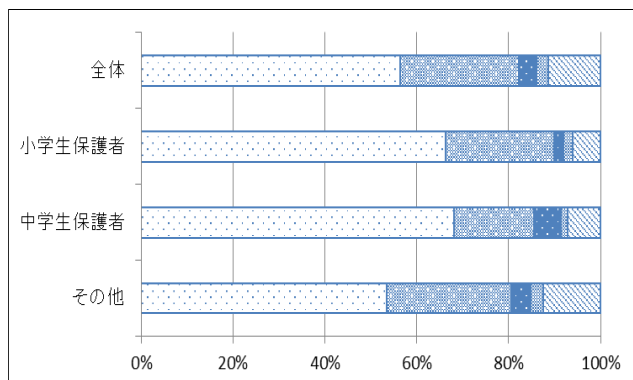
	ある	ない	わからない
全 体	49%	48%	2%
小学生保護者	76%	20%	4%
中学生保護者	77%	19%	4%
そ の 他	40%	58%	2%



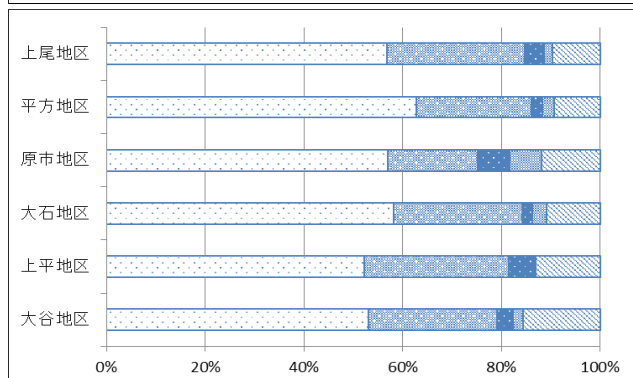
	ある	ない	わからない
上 尾 地 区	47%	49%	3%
平 方 地 区	44%	51%	5%
原 市 地 区	45%	53%	2%
大 石 地 区	49%	49%	2%
上 平 地 区	59%	39%	2%
大 谷 地 区	52%	48%	0%

問5 学校はどのような役割を果たしていますか

① 災害時の指定緊急避難場所・指定避難場所となる場

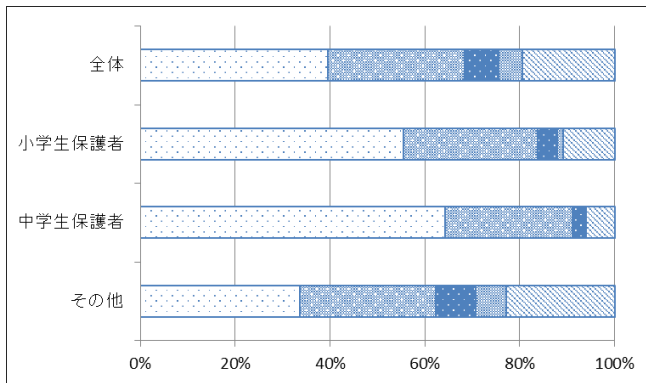


	果たしている	どちらかと言えば果たしている	どちらかと言えば果たしていない	果たしていない	分からない
全体	56%	26%	4%	2%	11%
小学生保護者	66%	24%	2%	2%	6%
中学生保護者	68%	17%	6%	1%	7%
その他	53%	27%	4%	3%	13%

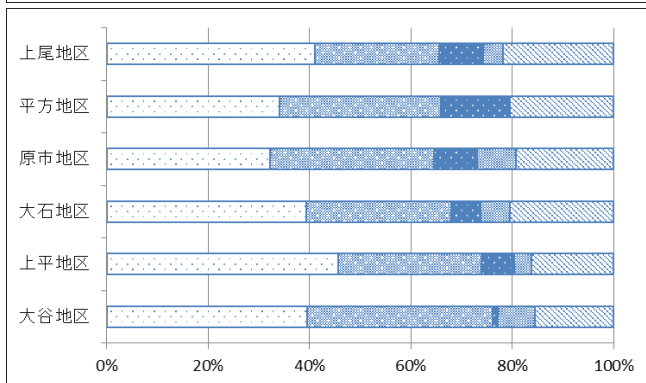


	果たしている	どちらかと言えば果たしている	どちらかと言えば果たしていない	果たしていない	分からない
上尾地区	57%	28%	4%	2%	10%
平方地区	63%	23%	2%	2%	9%
原市地区	57%	18%	6%	6%	12%
大石地区	58%	26%	2%	3%	11%
上平地区	52%	29%	5%	0%	13%
大谷地区	53%	26%	3%	2%	16%

② 校庭や体育館の開放によるスポーツ・レクリエーションの場

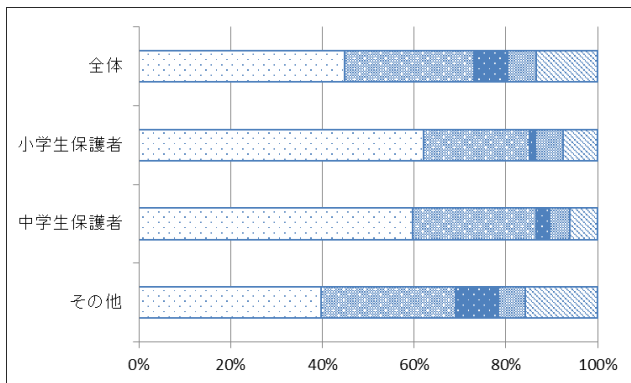


	果たしている	どちらかと言えば果たしている	どちらかと言えば果たしていない	果たしていない	分からない
全体	40%	29%	7%	5%	20%
小学生保護者	55%	28%	4%	1%	11%
中学生保護者	64%	27%	3%	0%	6%
その他	34%	29%	8%	6%	23%

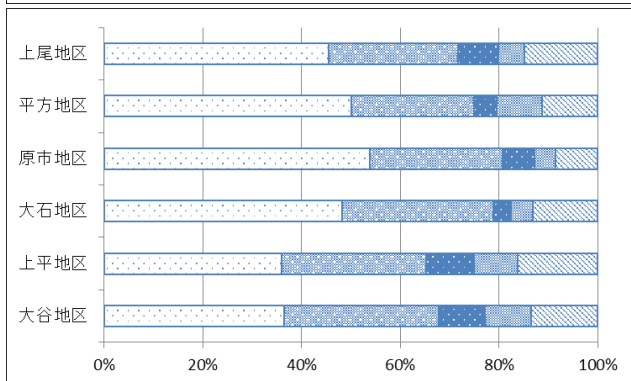


	果たしている	どちらかと言えば果たしている	どちらかと言えば果たしていない	果たしていない	分からない
上尾地区	41%	24%	9%	4%	22%
平方地区	34%	32%	14%	0%	20%
原市地区	32%	32%	9%	8%	19%
大石地区	39%	28%	6%	6%	20%
上平地区	46%	28%	7%	3%	16%
大谷地区	40%	36%	1%	7%	16%

③ 運動会やお祭りなど地域のコミュニケーションの場

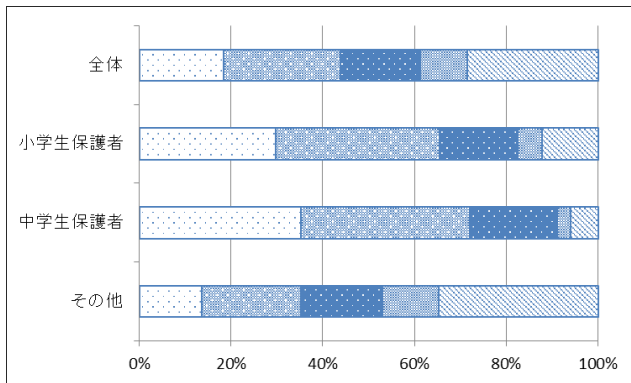


	果たしている	どちらかと言えば果たしている	どちらかと言えば果たしていない	果たしていない	分からない
全体	45%	28%	7%	6%	13%
小学生保護者	62%	23%	1%	6%	7%
中学生保護者	60%	27%	3%	4%	6%
その他	40%	29%	9%	6%	16%

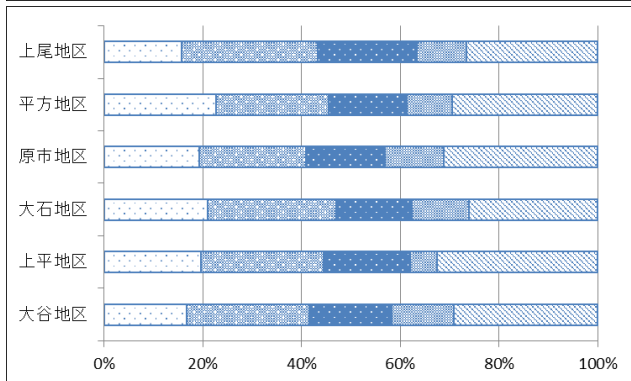


	果たしている	どちらかと言えば果たしている	どちらかと言えば果たしていない	果たしていない	分からない
上尾地区	45%	26%	8%	5%	15%
平方地区	50%	25%	5%	9%	11%
原市地区	54%	27%	6%	4%	9%
大石地区	48%	31%	4%	4%	13%
上平地区	36%	29%	10%	9%	16%
大谷地区	36%	31%	9%	9%	14%

④ 児童・生徒と地域住民が交流する場

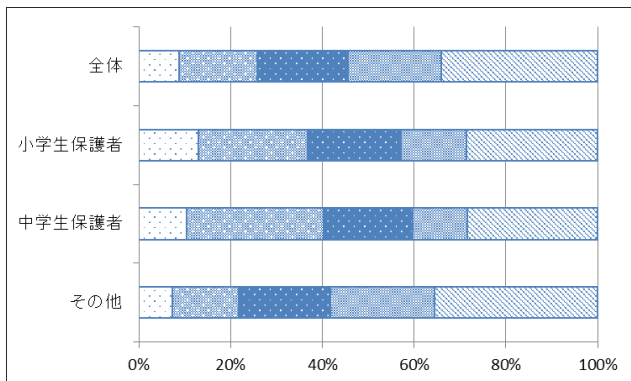


	果たしている	どちらかと言えば果たしている	どちらかと言えば果たしていない	果たしていない	分からない
全体	18%	25%	17%	10%	28%
小学生保護者	30%	36%	17%	5%	12%
中学生保護者	35%	37%	19%	3%	6%
その他	14%	22%	18%	12%	35%

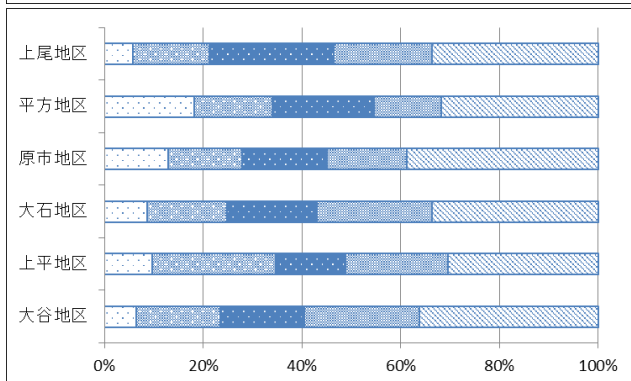


	果たしている	どちらかと言えば果たしている	どちらかと言えば果たしていない	果たしていない	分からない
上尾地区	16%	28%	20%	10%	27%
平方地区	23%	23%	16%	9%	30%
原市地区	19%	22%	16%	12%	31%
大石地区	21%	26%	15%	12%	26%
上平地区	20%	25%	17%	5%	33%
大谷地区	17%	25%	17%	13%	29%

⑤ 地域の伝統・歴史文化を継承し地域のシンボルとなる場

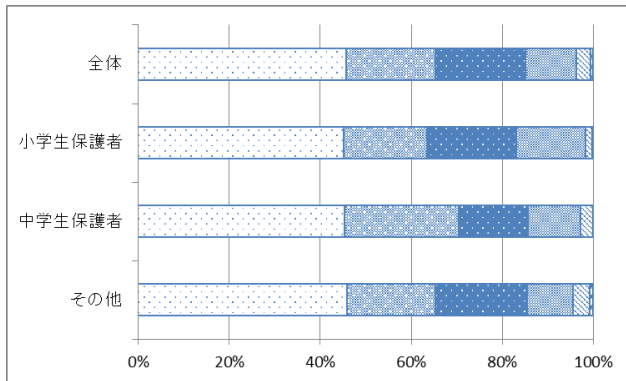


	果たしている	どちらかと言えば果たしている	どちらかと言えば果たしていない	果たしていない	分からない
全体	9%	17%	20%	20%	34%
小学生保護者	13%	24%	20%	14%	29%
中学生保護者	10%	30%	19%	12%	28%
その他	7%	14%	20%	23%	36%

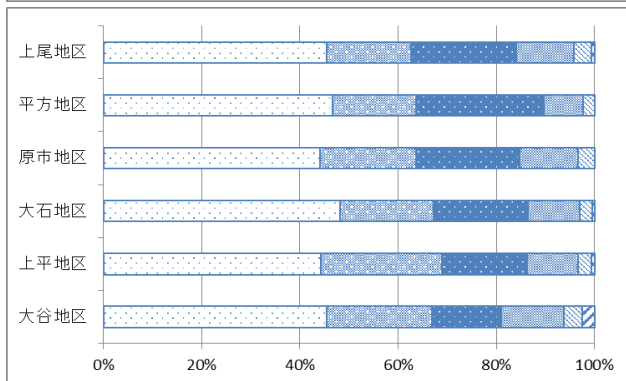


	果たしている	どちらかと言えば果たしている	どちらかと言えば果たしていない	果たしていない	分からない
上尾地区	6%	15%	25%	20%	34%
平方地区	18%	16%	20%	14%	32%
原市地区	13%	15%	17%	16%	39%
大石地区	9%	16%	18%	23%	34%
上平地区	10%	25%	14%	21%	30%
大谷地区	6%	17%	17%	23%	36%

問6 地域における学校の役割の中で重要だと思うものは

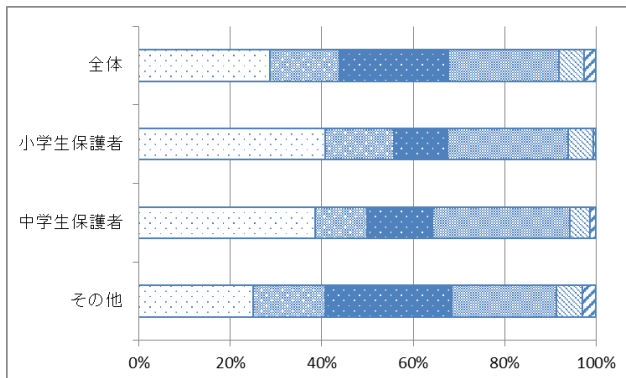


対象	災害時の指定緊急避難所等	スポーツ活動の場	コミュニケーションの場	児童・生徒と地域住民との交流の場	地域の伝統・歴史文化を継承する場	その他
全体	46%	20%	20%	11%	3%	1%
小学生保護者	45%	18%	20%	15%	1%	0%
中学生保護者	45%	25%	15%	12%	3%	0%
その他	46%	19%	20%	10%	4%	1%

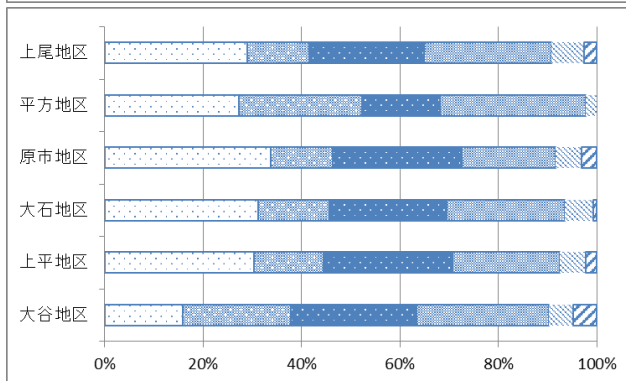


地域	災害時の指定緊急避難所等	スポーツ活動の場	コミュニケーションの場	児童・生徒と地域住民との交流の場	地域の伝統・歴史文化を継承する場	その他
上尾地区	45%	17%	21%	12%	3%	1%
平方地区	47%	17%	26%	8%	2%	0%
原市地区	44%	20%	21%	12%	3%	0%
大石地区	48%	19%	19%	11%	3%	0%
上平地区	44%	25%	17%	10%	3%	1%
大谷地区	45%	21%	14%	13%	4%	2%

問7 限られた財源の中で、学校施設に対し今後どのような対応が必要か



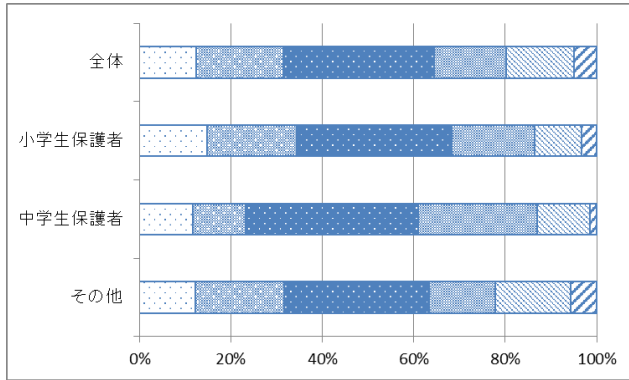
対象	現状の学校を維持	学校の統合により、維持管理費の効率化を図る	減築や他の用途への変更により、維持管理費の効率化を図る	再整備時に、児童数に合わせて減築する	再整備時に統合を図る	その他
全体	29%	15%	24%	24%	5%	3%
小学生保護者	41%	15%	12%	26%	6%	1%
中学生保護者	39%	11%	14%	30%	4%	1%
その他	25%	16%	28%	23%	6%	3%



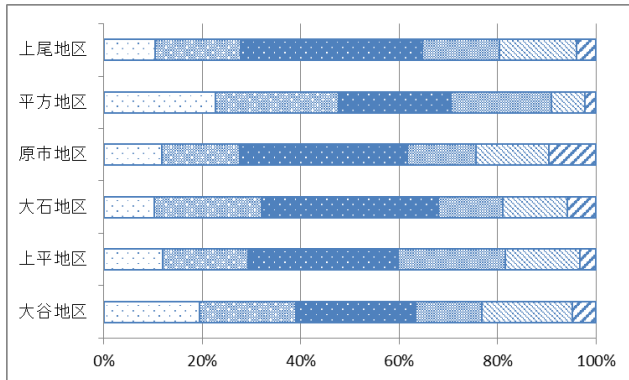
地域	現状の学校を維持	学校の統合により、維持管理費の効率化を図る	減築や他の用途への変更により、維持管理費の効率化を図る	再整備時に、児童数に合わせて減築する	再整備時に統合を図る	その他
上尾地区	29%	13%	23%	26%	7%	3%
平方地区	27%	25%	16%	30%	2%	0%
原市地区	34%	13%	26%	19%	5%	3%
大石地区	31%	14%	24%	24%	6%	1%
上平地区	30%	14%	26%	22%	5%	2%
大谷地区	16%	22%	26%	27%	5%	5%

問 8 教育環境の充実に向けた手法について（小規模校）

① 近隣小中学校を一体化し、9年間を通じて一貫した教育を行う

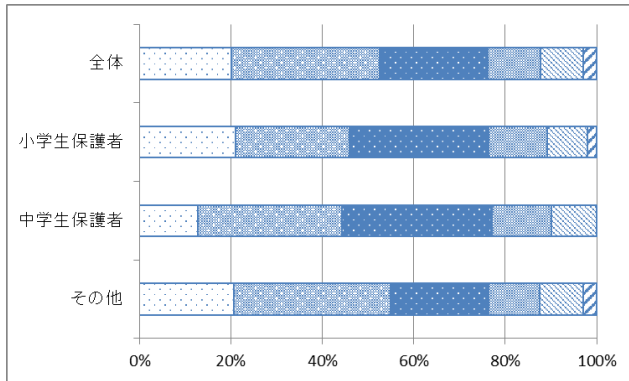


	導入すべき	どちらかと言えば導入すべき	どちらともいえない	どちらかと言えば導入しない方がよい	導入すべきでない	分からない
全体	12%	19%	33%	16%	15%	5%
小学生保護者	15%	20%	34%	18%	10%	3%
中学生保護者	12%	12%	38%	26%	12%	1%
その他	12%	20%	32%	15%	16%	6%

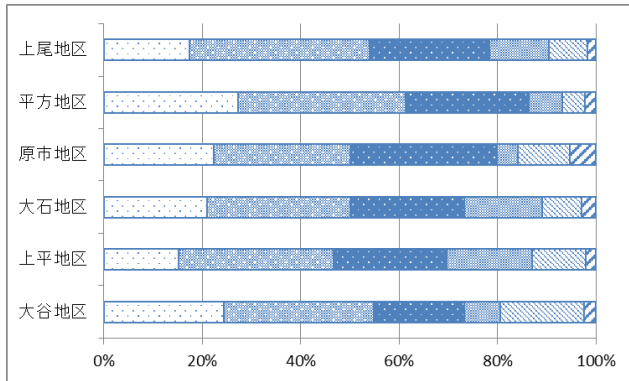


	導入すべき	どちらかと言えば導入すべき	どちらともいえない	どちらかと言えば導入しない方がよい	導入すべきでない	分からない
上尾地区	10%	17%	37%	16%	16%	4%
平方地区	23%	25%	23%	20%	7%	2%
原市地区	12%	16%	34%	14%	15%	10%
大石地区	10%	22%	36%	13%	13%	6%
上平地区	12%	17%	30%	22%	15%	3%
大谷地区	20%	20%	24%	13%	18%	5%

② 特定の学校について、市内のどこからでも就学を認める制度を創設

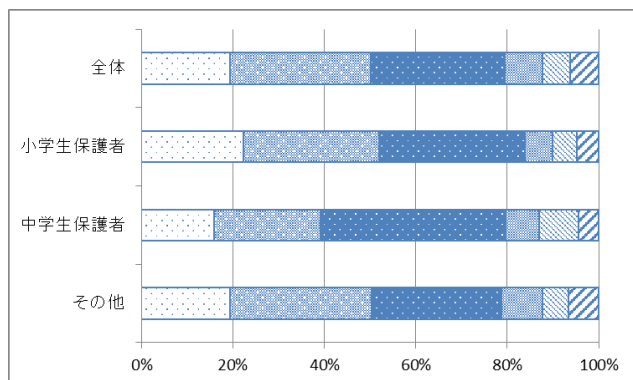


	導入すべき	どちらかと言えば導入すべき	どちらともいえない	どちらかと言えば導入しない方がよい	導入すべきでない	分からない
全体	20%	32%	24%	12%	9%	3%
小学生保護者	21%	25%	30%	13%	9%	2%
中学生保護者	13%	31%	33%	13%	10%	0%
その他	21%	34%	21%	11%	10%	3%

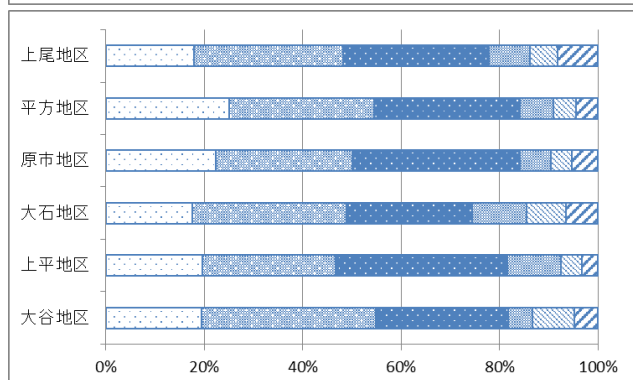


	導入すべき	どちらかと言えば導入すべき	どちらともいえない	どちらかと言えば導入しない方がよい	導入すべきでない	分からない
上尾地区	17%	37%	24%	12%	8%	2%
平方地区	27%	34%	25%	7%	5%	2%
原市地区	22%	28%	30%	4%	11%	5%
大石地区	21%	29%	23%	16%	8%	3%
上平地区	15%	32%	23%	17%	11%	2%
大谷地区	24%	30%	18%	7%	17%	2%

③ 学校間で連携して授業行事を行い、効果的な多人数指導を行う

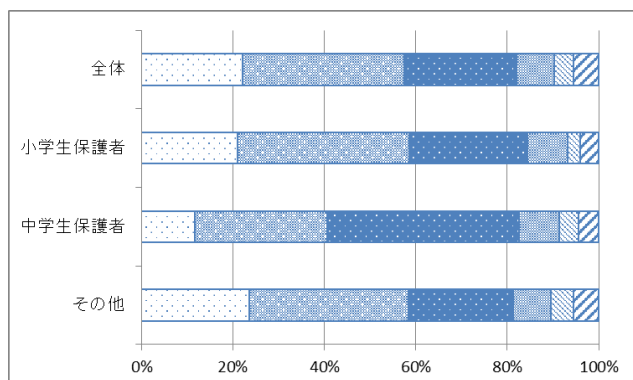


	導入すべき	どちらかと言えば導入すべき	どちらともいえない	どちらかと言えば導入しない方がよい	導入すべきでない	分からない
全体	19%	31%	29%	8%	6%	6%
小学生保護者	22%	30%	32%	6%	5%	5%
中学生保護者	16%	23%	41%	7%	9%	4%
その他	19%	31%	28%	9%	6%	7%

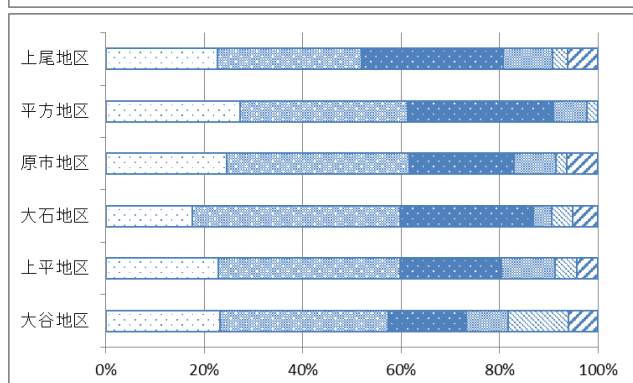


	導入すべき	どちらかと言えば導入すべき	どちらともいえない	どちらかと言えば導入しない方がよい	導入すべきでない	分からない
上尾地区	18%	30%	30%	8%	6%	8%
平方地区	25%	30%	30%	7%	5%	5%
原市地区	22%	28%	34%	6%	4%	5%
大石地区	18%	31%	26%	11%	8%	7%
上平地区	20%	27%	35%	11%	4%	3%
大谷地区	20%	35%	27%	5%	9%	5%

④ 幼稚園や保育所、児童館など児童福祉施設と複合化し、交流の機会を増やす

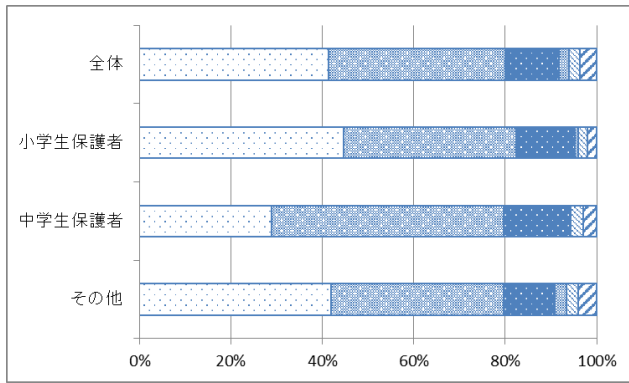


	導入すべき	どちらかと言えば導入すべき	どちらともいえない	どちらかと言えば導入しない方がよい	導入すべきでない	分からない
全体	22%	35%	25%	8%	4%	5%
小学生保護者	21%	37%	26%	9%	3%	4%
中学生保護者	12%	29%	42%	9%	4%	4%
その他	24%	35%	23%	8%	5%	6%

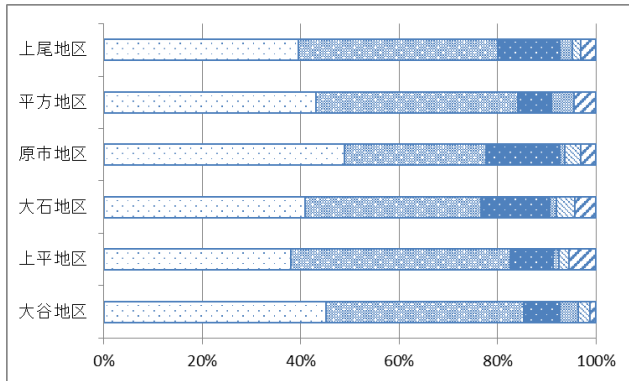


	導入すべき	どちらかと言えば導入すべき	どちらともいえない	どちらかと言えば導入しない方がよい	導入すべきでない	分からない
上尾地区	23%	29%	29%	10%	3%	6%
平方地区	27%	34%	30%	7%	2%	0%
原市地区	24%	37%	21%	9%	2%	6%
大石地区	18%	42%	27%	4%	4%	5%
上平地区	23%	37%	21%	11%	4%	4%
大谷地区	23%	34%	16%	9%	12%	6%

⑤ 放課後児童クラブと複合化し、児童の移動時の安全を確保する

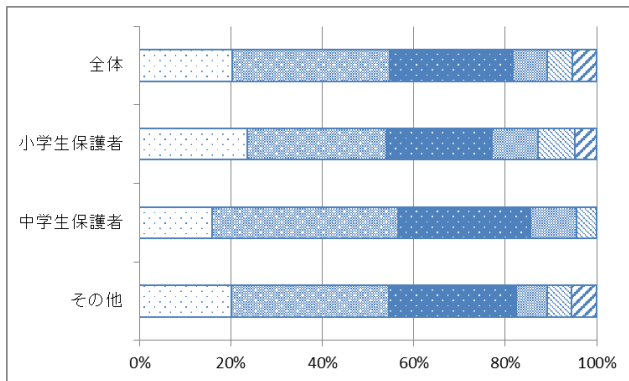


	導入すべき	どちらかと言えば導入すべき	どちらともいえない	どちらかと言えば導入しない方がよい	導入すべきでない	分からない
全体	41%	39%	12%	2%	2%	4%
小学生保護者	45%	38%	13%	1%	2%	2%
中学生保護者	29%	51%	14%	0%	3%	3%
その他	42%	38%	11%	3%	3%	4%

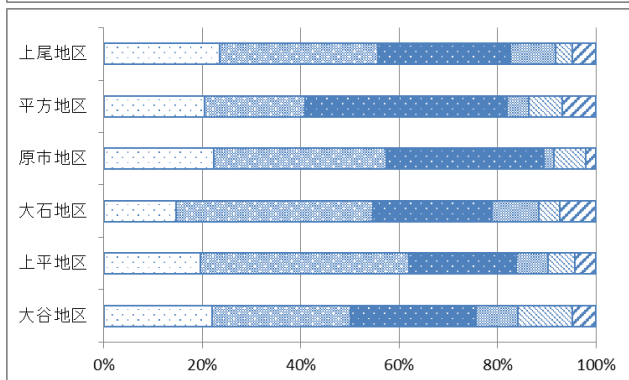


	導入すべき	どちらかと言えば導入すべき	どちらともいえない	どちらかと言えば導入しない方がよい	導入すべきでない	分からない
上尾地区	40%	40%	13%	3%	2%	3%
平方地区	43%	41%	7%	5%	0%	5%
原市地区	49%	29%	15%	1%	3%	3%
大石地区	41%	36%	14%	1%	4%	4%
上平地区	38%	45%	9%	1%	2%	5%
大谷地区	45%	40%	7%	4%	2%	1%

⑥ 公民館や集会所など社会教育施設と複合化し、交流の機会を増やす

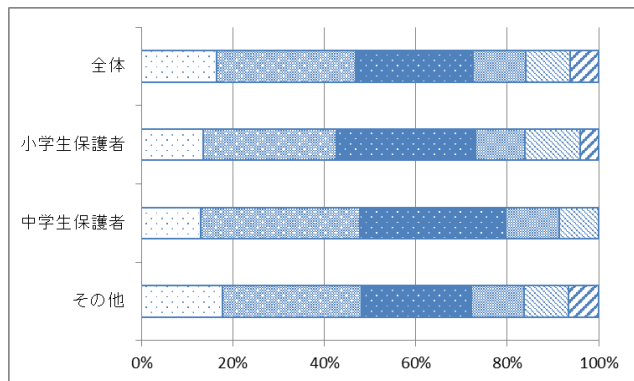


	導入すべき	どちらかと言えば導入すべき	どちらともいえない	どちらかと言えば導入しない方がよい	導入すべきでない	分からない
全体	20%	34%	27%	8%	5%	5%
小学生保護者	24%	30%	23%	10%	8%	5%
中学生保護者	16%	41%	29%	10%	4%	0%
その他	20%	34%	28%	7%	5%	6%

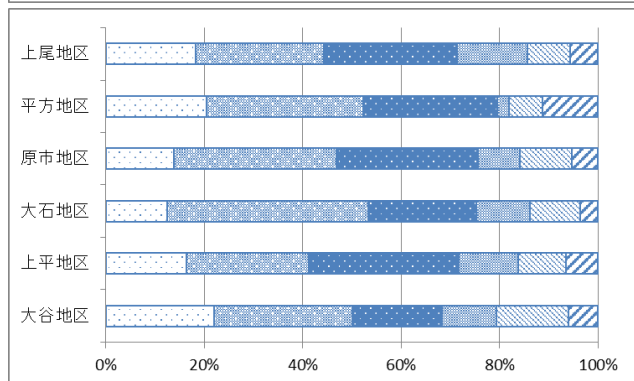


	導入すべき	どちらかと言えば導入すべき	どちらともいえない	どちらかと言えば導入しない方がよい	導入すべきでない	分からない
上尾地区	23%	32%	27%	9%	3%	5%
平方地区	20%	20%	41%	5%	7%	7%
原市地区	22%	35%	32%	2%	6%	2%
大石地区	15%	40%	24%	9%	4%	7%
上平地区	20%	42%	22%	7%	5%	4%
大谷地区	22%	28%	26%	9%	11%	5%

⑦ 老人福祉施設と複合化し、交流の機会を増やす

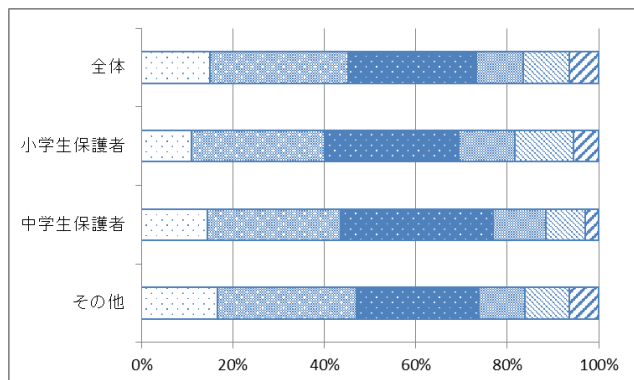


	導入すべき	どちらかと言えば導入すべき	どちらともいえない	どちらかと言えば導入しない方がよい	導入すべきでない	分からない
全体	16%	30%	26%	11%	10%	6%
小学生保護者	14%	29%	30%	11%	12%	4%
中学生保護者	13%	35%	32%	12%	9%	0%
その他	18%	30%	24%	12%	10%	7%

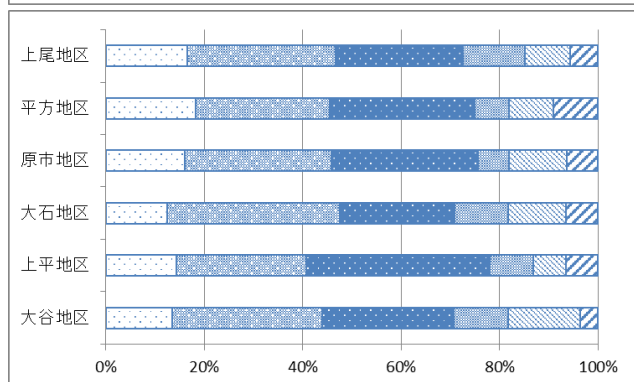


	導入すべき	どちらかと言えば導入すべき	どちらともいえない	どちらかと言えば導入しない方がよい	導入すべきでない	分からない
上尾地区	18%	26%	27%	14%	9%	6%
平方地区	20%	32%	27%	2%	7%	11%
原市地区	14%	33%	29%	9%	11%	5%
大石地区	12%	41%	22%	11%	10%	4%
上平地区	16%	25%	30%	12%	10%	7%
大谷地区	22%	28%	18%	11%	15%	6%

⑧ 障害者福祉施設と複合化し、交流の機会を増やす

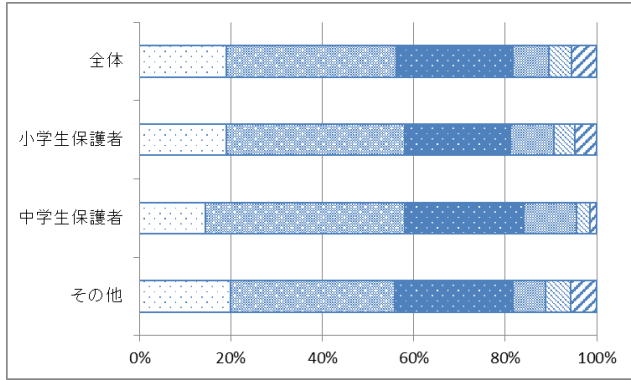


	導入すべき	どちらかと言えば導入すべき	どちらともいえない	どちらかと言えば導入しない方がよい	導入すべきでない	分からない
全体	15%	30%	28%	10%	10%	6%
小学生保護者	11%	29%	29%	12%	13%	5%
中学生保護者	14%	29%	33%	12%	9%	3%
その他	17%	31%	27%	10%	10%	6%

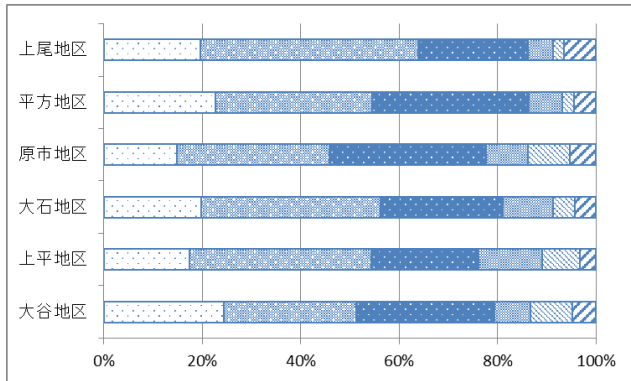


	導入すべき	どちらかと言えば導入すべき	どちらともいえない	どちらかと言えば導入しない方がよい	導入すべきでない	分からない
上尾地区	17%	30%	26%	13%	9%	6%
平方地区	18%	27%	30%	7%	9%	9%
原市地区	16%	30%	30%	6%	12%	6%
大石地区	12%	35%	23%	11%	12%	7%
上平地区	14%	26%	37%	9%	7%	7%
大谷地区	13%	30%	27%	11%	15%	4%

⑨ 適正規模に満たない隣接する学校を統合し、一定の集団規模を確保する

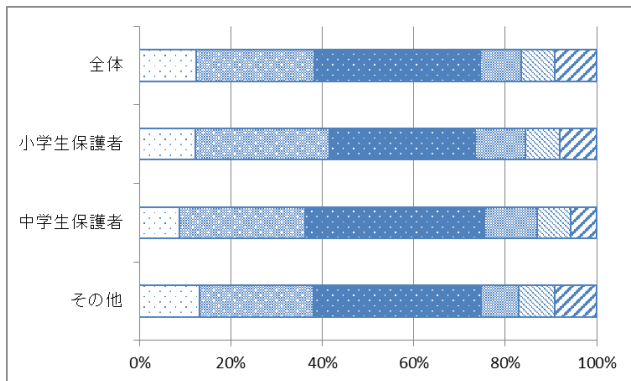


	導入すべき	どちらかと言えば導入すべき	どちらともいえない	どちらかと言えば導入しない方がよい	導入すべきでない	分からない
全体	19%	37%	26%	8%	5%	5%
小学生保護者	19%	39%	23%	9%	5%	5%
中学生保護者	14%	43%	26%	12%	3%	1%
その他	20%	36%	26%	7%	5%	6%

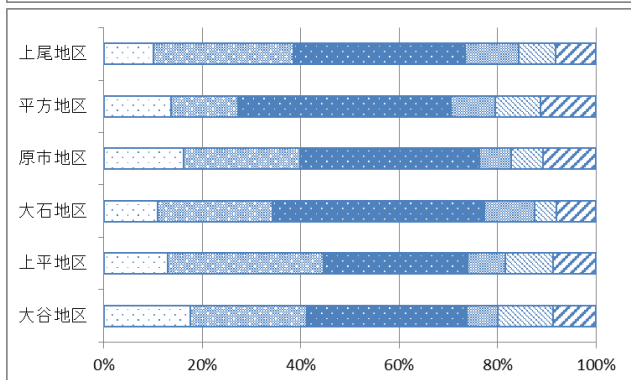


	導入すべき	どちらかと言えば導入すべき	どちらともいえない	どちらかと言えば導入しない方がよい	導入すべきでない	分からない
上尾地区	20%	44%	22%	5%	2%	7%
平方地区	23%	32%	32%	7%	2%	5%
原市地区	15%	31%	32%	9%	9%	5%
大石地区	20%	36%	25%	10%	4%	4%
上平地区	17%	37%	22%	13%	8%	3%
大谷地区	24%	27%	28%	7%	9%	5%

⑩ 上記にない行政機関等と複合化し、利便性の向上、活性化を図る



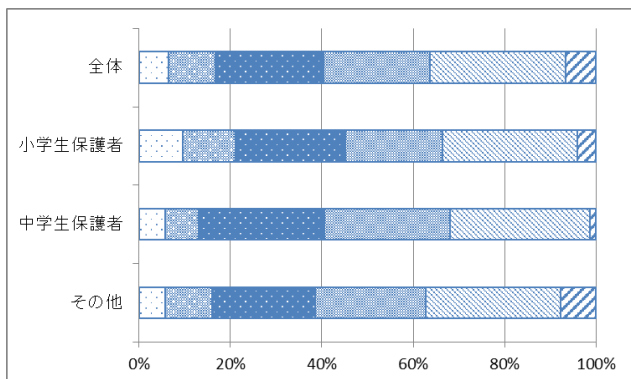
	導入すべき	どちらかと言えば導入すべき	どちらともいえない	どちらかと言えば導入しない方がよい	導入すべきでない	分からない
全体	12%	26%	36%	9%	7%	9%
小学生保護者	12%	29%	32%	11%	7%	8%
中学生保護者	9%	28%	39%	12%	7%	6%
その他	13%	25%	37%	8%	8%	9%



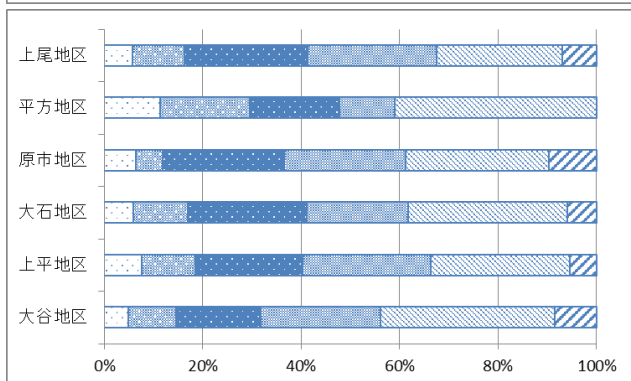
	導入すべき	どちらかと言えば導入すべき	どちらともいえない	どちらかと言えば導入しない方がよい	導入すべきでない	分からない
上尾地区	10%	28%	35%	11%	7%	8%
平方地区	14%	14%	43%	9%	9%	11%
原市地区	16%	24%	37%	6%	6%	11%
大石地区	11%	23%	43%	10%	4%	8%
上平地区	13%	32%	29%	8%	10%	9%
大谷地区	18%	24%	33%	6%	11%	9%

問9 教育環境の充実に向けた手法について（大規模校）

① 新たな学校を新設し、児童生徒数を調整する

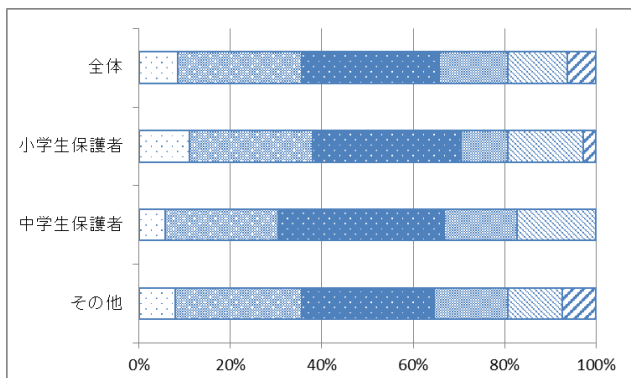


	導入すべき	どちらかと言えば導入すべき	どちらともいえない	どちらかと言えば導入しない方がよい	導入すべきでない	分からない
全体	7%	10%	24%	23%	30%	7%
小学生保護者	10%	12%	24%	21%	29%	4%
中学生保護者	6%	7%	28%	28%	30%	1%
その他	6%	10%	23%	24%	29%	8%

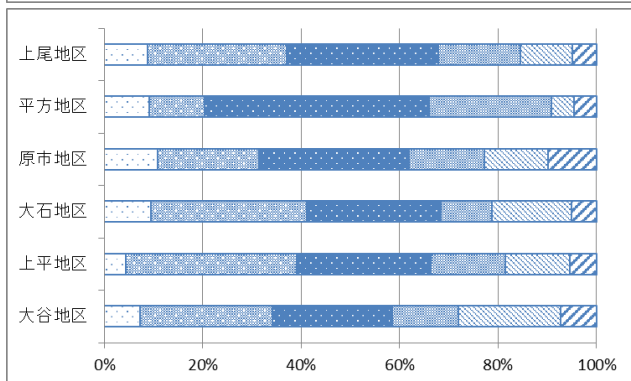


	導入すべき	どちらかと言えば導入すべき	どちらともいえない	どちらかと言えば導入しない方がよい	導入すべきでない	分からない
上尾地区	6%	11%	25%	26%	25%	7%
平方地区	11%	18%	18%	11%	41%	0%
原市地区	6%	5%	25%	25%	29%	10%
大石地区	6%	11%	24%	21%	32%	6%
上平地区	8%	11%	22%	26%	28%	5%
大谷地区	5%	10%	17%	24%	35%	9%

② 児童生徒数は変えずに、現在の学校を増改築する

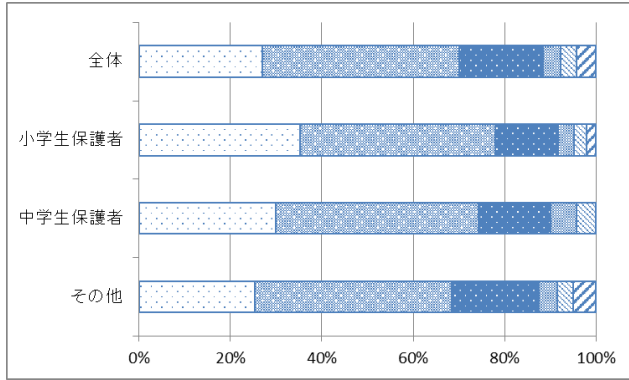


	導入すべき	どちらかと言えば導入すべき	どちらともいえない	どちらかと言えば導入しない方がよい	導入すべきでない	分からない
全体	9%	27%	30%	15%	13%	6%
小学生保護者	11%	27%	32%	10%	17%	3%
中学生保護者	6%	25%	36%	16%	17%	0%
その他	8%	28%	29%	16%	12%	7%

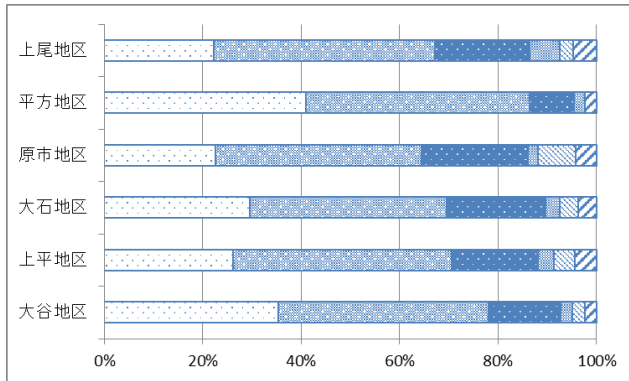


	導入すべき	どちらかと言えば導入すべき	どちらともいえない	どちらかと言えば導入しない方がよい	導入すべきでない	分からない
上尾地区	9%	28%	31%	17%	11%	5%
平方地区	9%	11%	45%	25%	5%	5%
原市地区	11%	21%	30%	15%	13%	10%
大石地区	10%	32%	27%	10%	16%	5%
上平地区	4%	35%	27%	15%	13%	5%
大谷地区	7%	27%	24%	13%	21%	7%

③ 近隣の学校と通学区域を見直し、児童生徒数を調整する

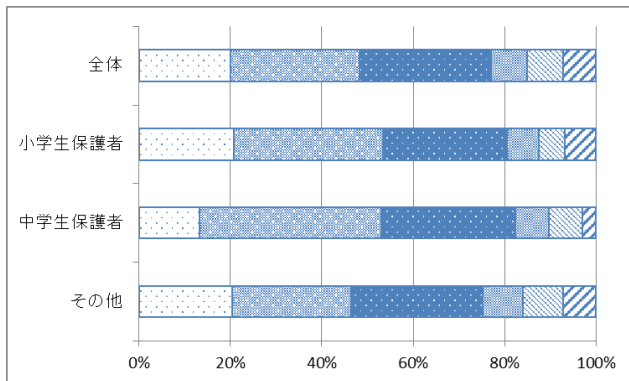


	導入すべき	どちらかと言えば導入すべき	どちらともいえない	どちらかと言えば導入しない方がよい	導入すべきでない	分からない
全体	27%	43%	18%	4%	3%	4%
小学生保護者	35%	43%	14%	3%	3%	2%
中学生保護者	30%	44%	16%	6%	4%	0%
その他	25%	43%	19%	4%	4%	5%

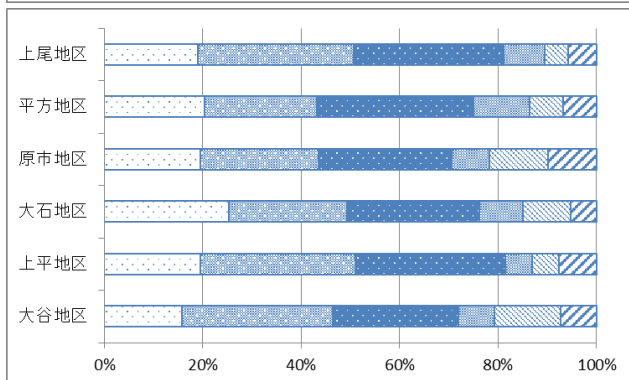


	導入すべき	どちらかと言えば導入すべき	どちらともいえない	どちらかと言えば導入しない方がよい	導入すべきでない	分からない
上尾地区	22%	45%	19%	6%	3%	5%
平方地区	41%	45%	9%	2%	0%	2%
原市地区	23%	42%	22%	2%	8%	4%
大石地区	30%	40%	20%	3%	4%	4%
上平地区	26%	45%	17%	3%	4%	4%
大谷地区	35%	43%	15%	2%	2%	2%

④ 児童生徒数は変えずに、教職員数を増やす

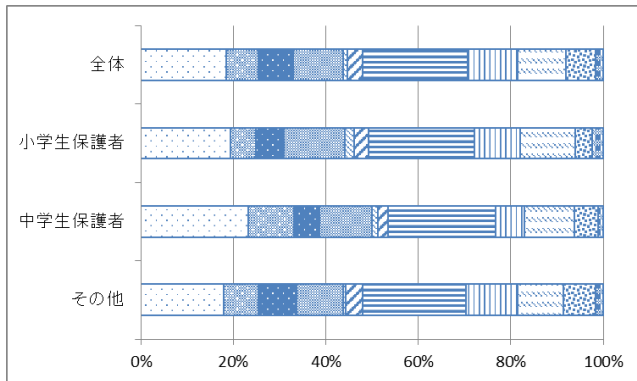


	導入すべき	どちらかと言えば導入すべき	どちらともいえない	どちらかと言えば導入しない方がよい	導入すべきでない	分からない
全体	20%	28%	29%	8%	8%	7%
小学生保護者	21%	33%	27%	7%	6%	7%
中学生保護者	13%	40%	29%	7%	7%	3%
その他	20%	26%	29%	9%	9%	7%

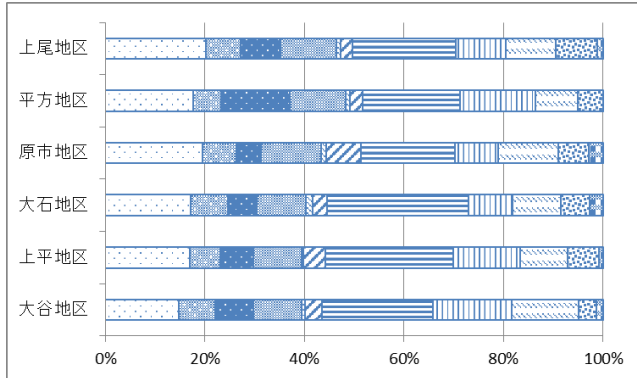


	導入すべき	どちらかと言えば導入すべき	どちらともいえない	どちらかと言えば導入しない方がよい	導入すべきでない	分からない
上尾地区	19%	32%	30%	8%	5%	6%
平方地区	20%	23%	32%	11%	7%	7%
原市地区	20%	24%	27%	8%	12%	10%
大石地区	25%	24%	27%	9%	10%	5%
上平地区	20%	32%	30%	5%	5%	8%
大谷地区	16%	30%	26%	7%	13%	7%

問 10 学校に一番必要なことは

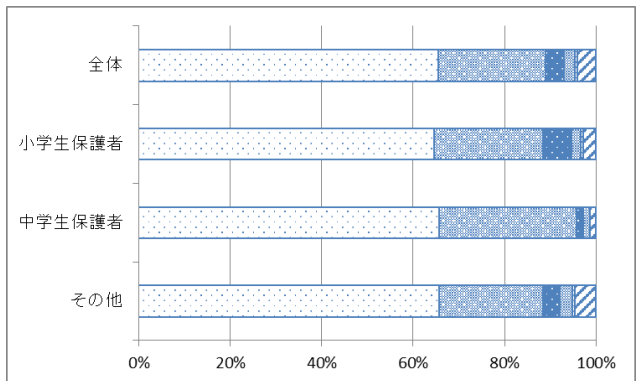


項目	雰囲気の良いこと	1人ひとりの活躍の場があること	良いこと	上級生と下級生の仲が良いいこと	行き届いた指導を行うこと	新しい建物	新しい設備	付けられること	社会性や協調性を身に付けられること	人間関係に変化を持たせることができること
全体	20%	7%	8%	12%	1%	4%	24%	12%		
小学生保護者	19%	6%	6%	13%	2%	3%	23%	10%		
中学生保護者	22%	10%	5%	11%	1%	2%	22%	6%		
その他	20%	8%	9%	11%	1%	4%	24%	12%		

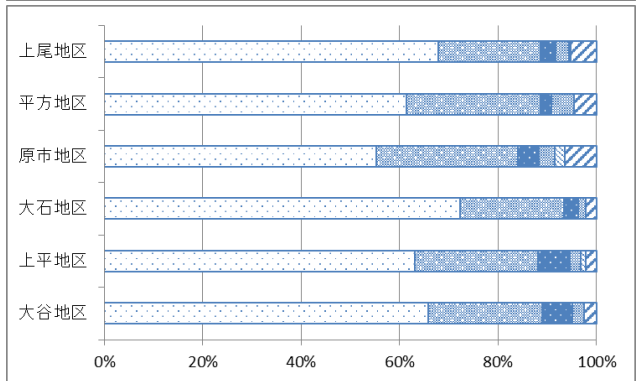


地域	雰囲気の良いこと	1人ひとりの活躍の場があること	良いこと	上級生と下級生の仲が良いいこと	行き届いた指導を行うこと	新しい建物	新しい設備	付けられること	社会性や協調性を身に付けられること	人間関係に変化を持たせることができること
上尾地区	21%	7%	8%	12%	1%	2%	21%	10%		
平方地区	18%	6%	14%	12%	1%	3%	20%	16%		
原市地区	20%	7%	5%	12%	1%	7%	19%	9%		
大石地区	19%	8%	6%	11%	2%	3%	31%	10%		
上平地区	20%	7%	8%	11%	0%	5%	30%	16%		
大谷地区	19%	9%	10%	12%	1%	4%	28%	20%		

問 11 通学距離について (小学校)

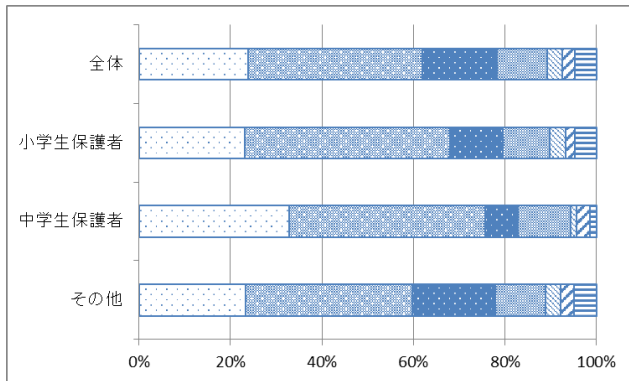


項目	2km未満	3km未満	4km未満	5km未満	新しい施設であれば遠くても構わない	分からない
全体	66%	24%	4%	2%	1%	4%
小学生保護者	65%	24%	6%	2%	1%	3%
中学生保護者	66%	30%	1%	1%	0%	1%
その他	66%	23%	4%	3%	1%	5%

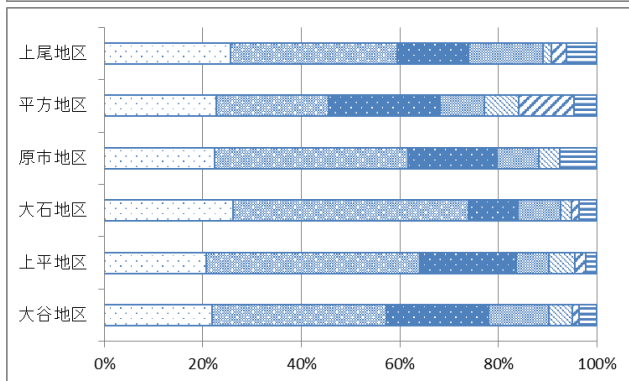


地域	2km未満	3km未満	4km未満	5km未満	新しい施設であれば遠くても構わない	分からない
上尾地区	68%	21%	3%	3%	0%	5%
平方地区	61%	27%	2%	5%	0%	5%
原市地区	55%	29%	4%	3%	2%	6%
大石地区	72%	21%	3%	1%	0%	2%
上平地区	63%	25%	7%	2%	1%	2%
大谷地区	66%	23%	6%	2%	0%	2%

問 12 通学距離について (中学校)

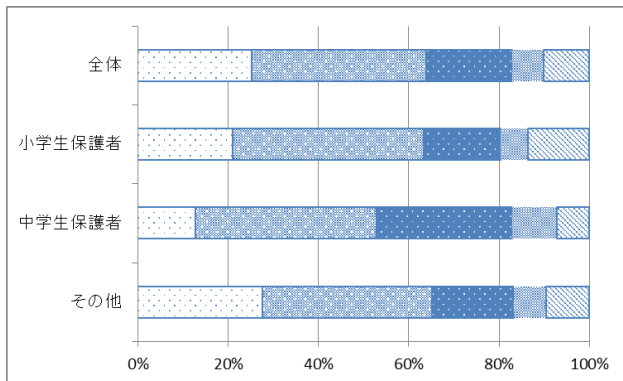


	2km未満	3km未満	4km未満	5km未満	6km未満	新しい施設であれば遠くても構わない	分からない
全体	24%	38%	16%	11%	3%	3%	5%
小学生保護者	23%	45%	12%	10%	3%	2%	5%
中学生保護者	33%	43%	7%	11%	1%	3%	1%
その他	23%	37%	18%	11%	3%	3%	5%

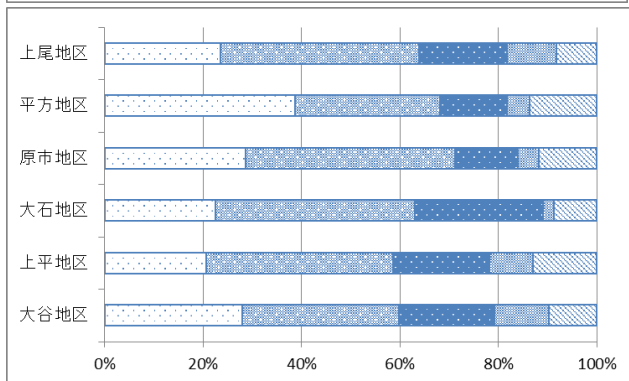


	2km未満	3km未満	4km未満	5km未満	6km未満	新しい施設であれば遠くても構わない	分からない
上尾地区	26%	34%	14%	15%	2%	3%	6%
平方地区	23%	23%	23%	9%	7%	11%	5%
原市地区	22%	39%	18%	9%	4%	0%	7%
大石地区	26%	48%	10%	9%	2%	1%	4%
上平地区	21%	43%	20%	7%	5%	2%	2%
大谷地区	22%	35%	21%	12%	5%	1%	4%

問 13 希望する学校へ就学を認める制度について (小学校)

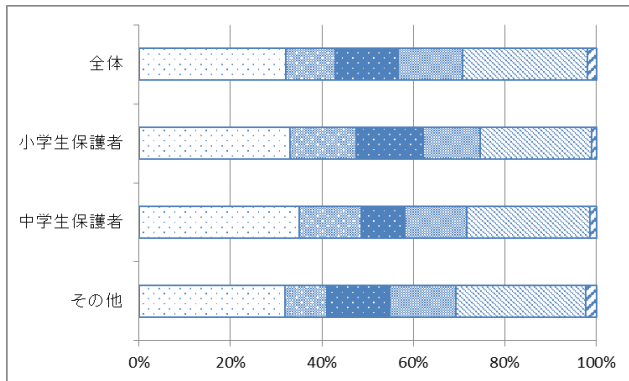


	賛成	どちらかと言えば賛成	どちらかと言えば反対	反対	分からない
全体	25%	39%	19%	7%	10%
小学生保護者	21%	42%	17%	6%	14%
中学生保護者	13%	40%	30%	10%	7%
その他	28%	38%	18%	7%	10%

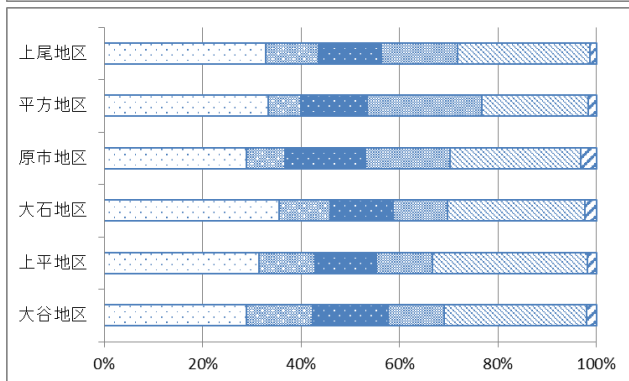


	賛成	どちらかと言えば賛成	どちらかと言えば反対	反対	分からない
上尾地区	23%	40%	18%	10%	8%
平方地区	39%	30%	14%	5%	14%
原市地区	29%	43%	13%	4%	12%
大石地区	22%	41%	26%	2%	9%
上平地区	21%	38%	20%	9%	13%
大谷地区	28%	32%	20%	11%	10%

問 14 問 13 で「賛成」「どちらかと言えば賛成」と答えた理由

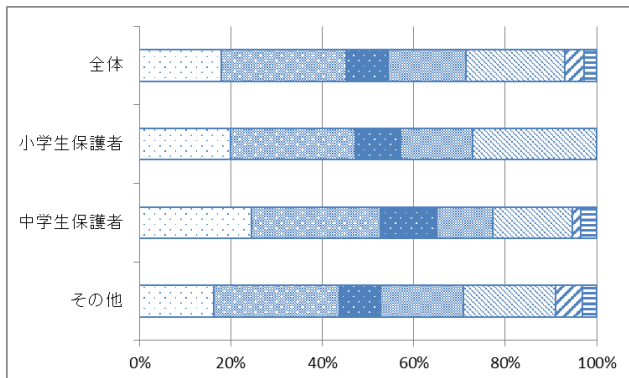


	児童への負担が少ないため	きめ細やかな指導支援	学校間の競い合い、創意工夫による環境の向上	友人関係の安定	個性に合った学校が選べる	その他
全体	32%	11%	14%	14%	27%	2%
小学生保護者	33%	15%	15%	12%	24%	1%
中学生保護者	35%	14%	9%	14%	27%	1%
その他	32%	9%	14%	15%	28%	2%

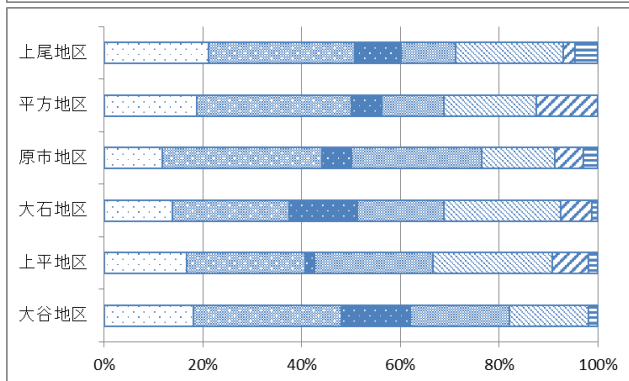


	児童への負担が少ないため	きめ細やかな指導支援	学校間の競い合い、創意工夫による環境の向上	友人関係の安定	個性に合った学校が選べる	その他
上尾地区	33%	11%	13%	15%	27%	1%
平方地区	33%	7%	13%	23%	22%	2%
原市地区	29%	8%	16%	17%	27%	3%
大石地区	35%	10%	13%	11%	28%	2%
上平地区	31%	11%	12%	11%	31%	2%
大谷地区	29%	13%	15%	11%	29%	2%

問 15 問 13 で「反対」「どちらかと言えば反対」と答えた理由

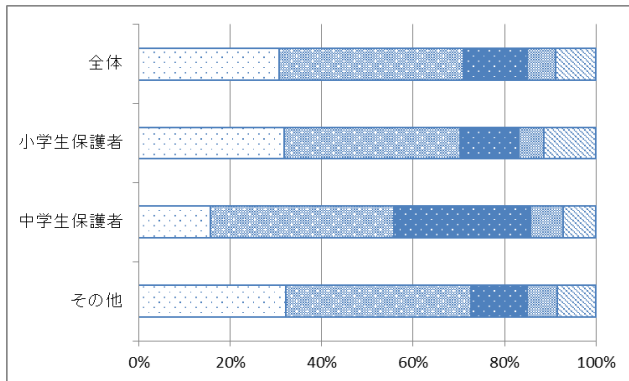


	児童への負担が少ないため	一部の学校に選択が集中する	競争を助長する	地域への帰属意識が薄れる	児童の安全上の問題	学区外の保護者の学校活動への参加が限られる	その他
全体	18%	27%	9%	17%	22%	4%	3%
小学生保護者	20%	27%	10%	16%	27%	0%	0%
中学生保護者	25%	28%	12%	12%	18%	2%	4%
その他	16%	28%	9%	18%	20%	6%	3%

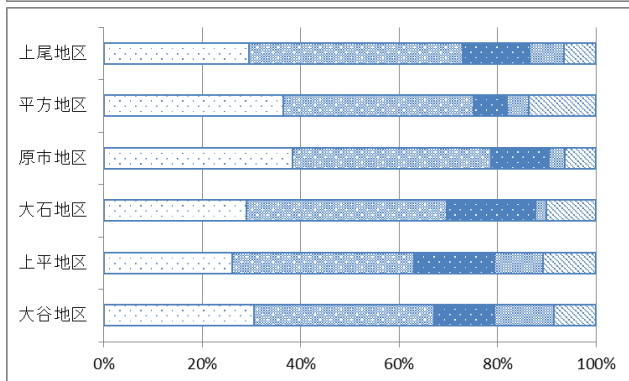


	児童への負担が少ないため	一部の学校に選択が集中する	競争を助長する	地域への帰属意識が薄れる	児童の安全上の問題	学区外の保護者の学校活動への参加が限られる	その他
上尾地区	21%	30%	9%	11%	22%	2%	5%
平方地区	19%	31%	6%	13%	19%	13%	0%
原市地区	12%	32%	6%	26%	15%	6%	3%
大石地区	14%	24%	14%	18%	24%	6%	1%
上平地区	17%	24%	2%	24%	24%	7%	2%
大谷地区	18%	30%	14%	20%	16%	0%	2%

問 16 希望する学校へ就学を認める制度について（中学校）

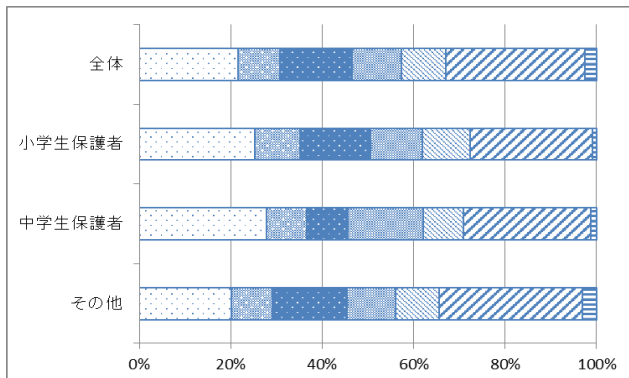


	賛成	どちらかと言えば賛成	どちらかと言えば反対	反対	分からない
全体	31%	40%	14%	6%	9%
小学生保護者	32%	39%	13%	5%	11%
中学生保護者	16%	40%	30%	7%	7%
その他	32%	40%	12%	7%	8%

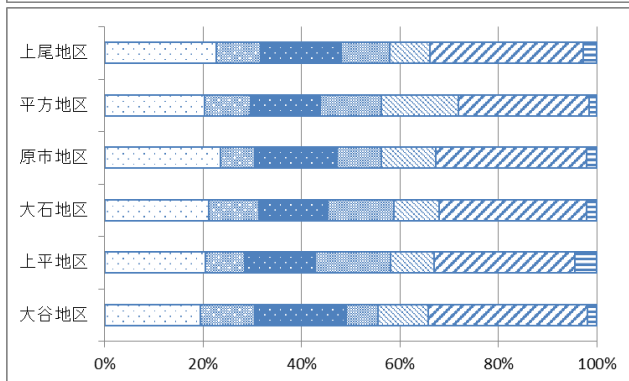


	賛成	どちらかと言えば賛成	どちらかと言えば反対	反対	分からない
上尾地区	29%	43%	14%	7%	7%
平方地区	36%	39%	7%	5%	14%
原市地区	38%	40%	12%	3%	6%
大石地区	29%	41%	18%	2%	10%
上平地区	26%	37%	16%	10%	11%
大谷地区	30%	37%	12%	12%	9%

問 17 問 16 で「賛成」「どちらかと言えば賛成」と答えた理由

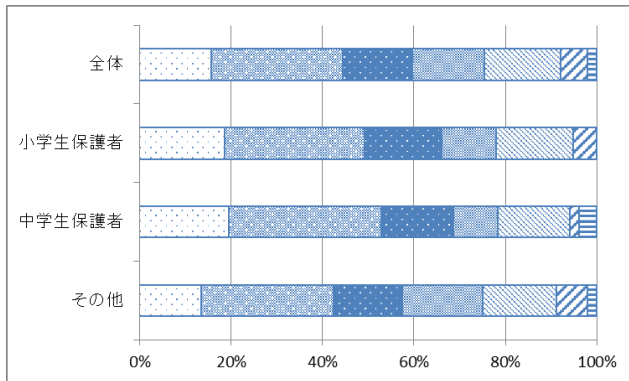


	生徒への負担が少ない	きめ細やかな指導支援	学校間で競い合い創意工夫で教育環境が向上	居住地域にない部活動	友人関係が安定	個性に合った学校を選べる	その他
全体	22%	9%	16%	11%	10%	30%	2%
小学生保護者	25%	10%	15%	11%	10%	27%	1%
中学生保護者	28%	9%	9%	16%	9%	28%	1%
その他	20%	9%	16%	11%	10%	31%	3%

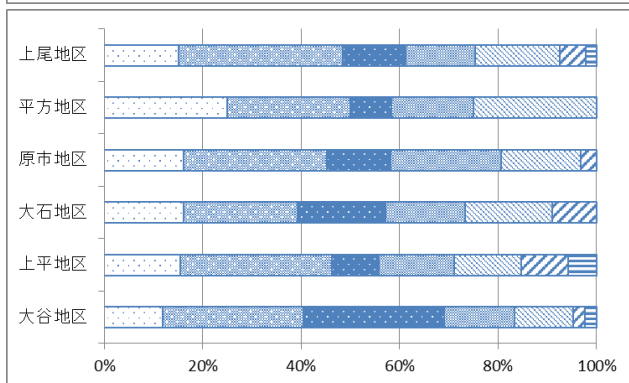


	生徒への負担が少ない	きめ細やかな指導支援	学校間で競い合い創意工夫で教育環境が向上	居住地域にない部活動	友人関係が安定	個性に合った学校を選べる	その他
上尾地区	23%	9%	16%	10%	8%	31%	3%
平方地区	20%	9%	14%	13%	16%	27%	2%
原市地区	24%	7%	17%	9%	11%	31%	2%
大石地区	21%	10%	14%	13%	9%	30%	2%
上平地区	21%	8%	14%	15%	9%	29%	4%
大谷地区	19%	11%	19%	6%	10%	32%	2%

問 18 問 16 で「反対」「どちらかと言えば反対」と答えた理由

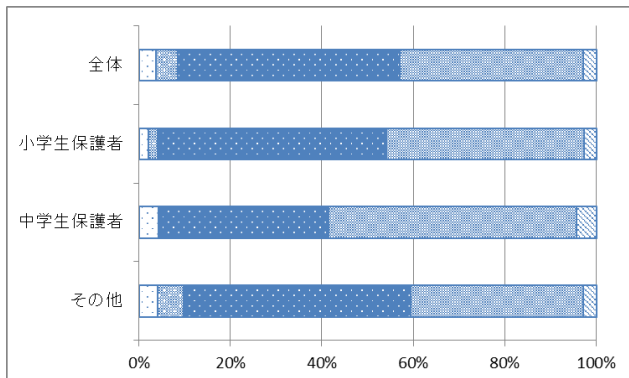


	生徒への負担が少ない	一部の学校に選択が集中する	競争を助長する	地域への帰属意識が薄れる	生徒の安全上の問題	学区外の保護者の学校活動への参加が限られる	その他
全体	16%	29%	15%	16%	17%	6%	2%
小学生保護者	19%	31%	17%	12%	17%	5%	0%
中学生保護者	20%	33%	16%	10%	16%	2%	4%
その他	13%	29%	15%	18%	16%	7%	2%

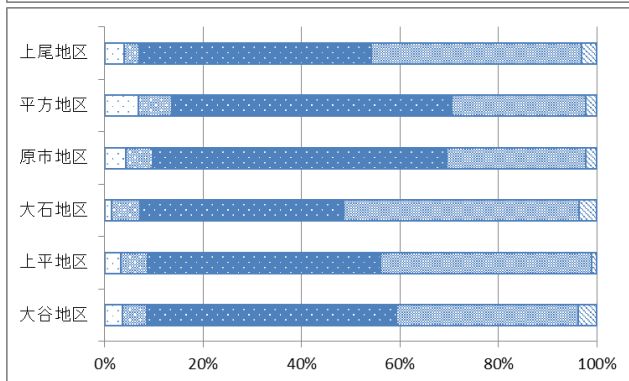


	生徒への負担が少ない	一部の学校に選択が集中する	競争を助長する	地域への帰属意識が薄れる	生徒の安全上の問題	学区外の保護者の学校活動への参加が限られる	その他
上尾地区	15%	33%	13%	14%	17%	5%	2%
平方地区	25%	25%	8%	17%	25%	0%	0%
原市地区	16%	29%	13%	23%	16%	3%	0%
大石地区	16%	23%	18%	16%	18%	9%	0%
上平地区	15%	31%	10%	15%	13%	10%	6%
大谷地区	12%	29%	29%	14%	12%	2%	2%

問 19 小学校の1学年あたりの学級数について

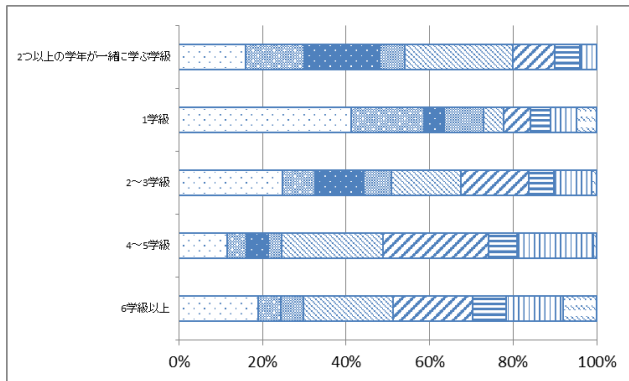


	2つ以上の学年が一緒に学ぶ学級	1学級	2~3学級	4~5学級	6学級以上
全体	4%	5%	49%	40%	3%
小学生保護者	2%	2%	50%	43%	3%
中学生保護者	4%	0%	37%	54%	4%
その他	4%	6%	50%	38%	3%

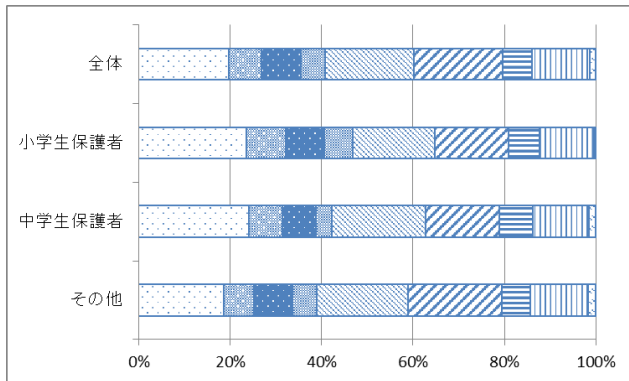


	2つ以上の学年が一緒に学ぶ学級	1学級	2~3学級	4~5学級	6学級以上
上尾地区	4%	3%	47%	43%	3%
平方地区	7%	7%	57%	27%	2%
原市地区	4%	5%	60%	28%	2%
大石地区	1%	6%	41%	48%	4%
上平地区	3%	5%	47%	43%	1%
大谷地区	4%	5%	51%	37%	4%

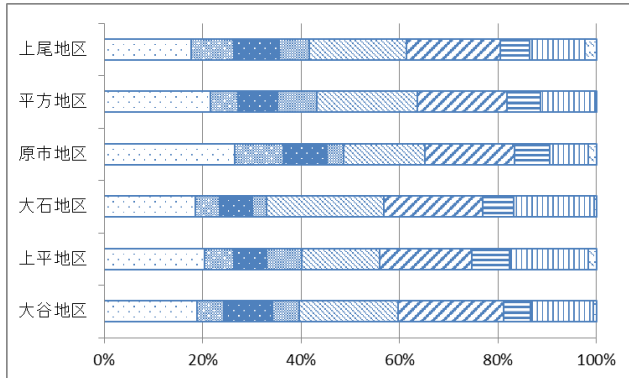
問 20 問 19 で各選択肢を選んだ理由



	きめ細やかな指導	1人ひとりの活動を設定しやすい	人間的関係が深まりやすく、縦の交流も生まれる	施設等余裕をもって利用	社会的や協調性が身に付く	人間関係に変化をもたらせる	競争意識が高まり、たくましさが増える	学校行事が活発になる	その他
2つ以上の学年が一緒に学ぶ学級	16%	14%	18%	6%	26%	10%	6%	4%	0%
1学級	41%	17%	5%	10%	5%	6%	5%	6%	5%
2～3学級	25%	8%	12%	7%	17%	16%	6%	9%	1%
4～5学級	12%	5%	5%	3%	24%	25%	7%	18%	1%
6学級以上	19%	5%	0%	5%	22%	19%	8%	14%	8%

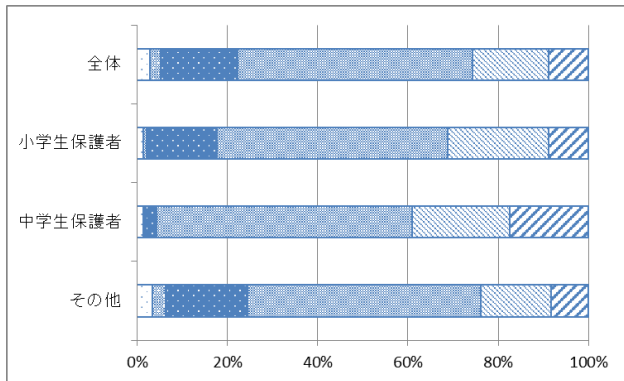


	きめ細やかな指導	1人ひとりの活動を設定しやすい	人間的関係が深まりやすく、縦の交流も生まれる	施設等余裕をもって利用	社会的や協調性が身に付く	人間関係に変化をもたらせる	競争意識が高まり、たくましさが増える	学校行事が活発になる	その他
全体	20%	7%	9%	5%	20%	19%	6%	13%	1%
小学生保護者	24%	9%	9%	6%	18%	16%	7%	12%	0%
中学生保護者	24%	7%	7%	4%	20%	16%	7%	12%	1%
その他	19%	7%	9%	5%	20%	21%	6%	13%	2%

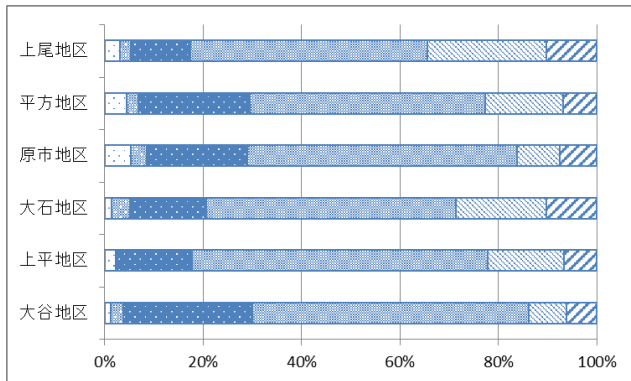


	きめ細やかな指導	1人ひとりの活動を設定しやすい	人間的関係が深まりやすく、縦の交流も生まれる	施設等余裕をもって利用	社会的や協調性が身に付く	人間関係に変化をもたらせる	競争意識が高まり、たくましさが増える	学校行事が活発になる	その他
上尾地区	18%	9%	9%	6%	20%	19%	6%	11%	2%
平方地区	22%	6%	8%	8%	20%	18%	7%	11%	0%
原市地区	27%	10%	9%	3%	17%	18%	7%	8%	2%
大石地区	19%	5%	7%	3%	24%	20%	6%	16%	0%
上平地区	20%	6%	7%	7%	16%	19%	8%	16%	2%
大谷地区	19%	5%	10%	5%	20%	21%	5%	13%	1%

問 21 中学校の1学年あたりの学級数について

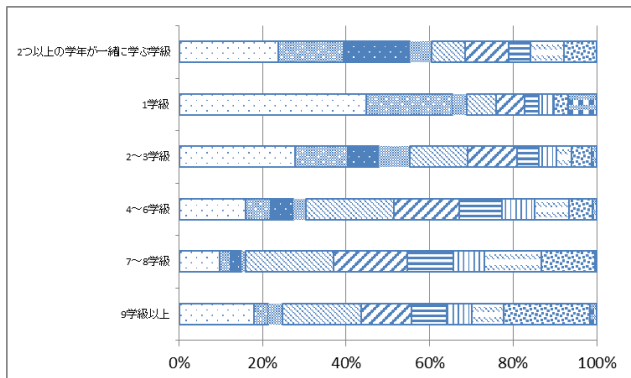


	2つ以上の学年が一緒に学ぶ学級	1学級	2～3学級	4～6学級	7～8学級	9学級以上
全体	3%	2%	17%	52%	17%	9%
小学生保護者	1%	1%	16%	51%	22%	9%
中学生保護者	1%	0%	3%	57%	22%	17%
その他	3%	3%	18%	52%	15%	8%

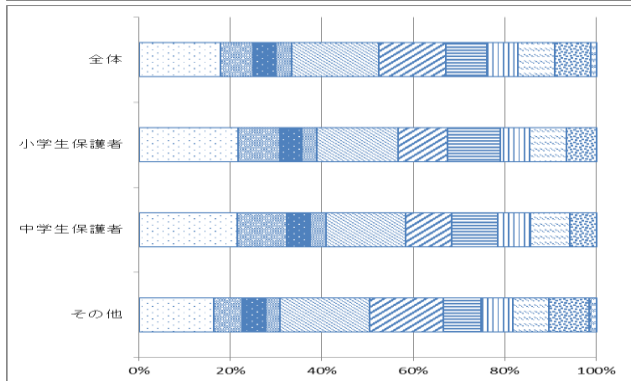


	2つ以上の学年が一緒に学ぶ学級	1学級	2～3学級	4～6学級	7～8学級	9学級以上
上尾地区	3%	2%	12%	48%	24%	10%
平方地区	5%	2%	23%	48%	16%	7%
原市地区	5%	3%	20%	55%	9%	8%
大石地区	1%	4%	15%	51%	18%	10%
上平地区	2%	0%	16%	60%	16%	7%
大谷地区	1%	3%	26%	56%	8%	6%

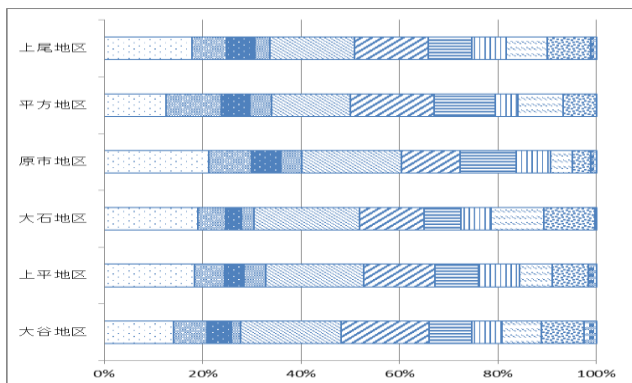
問 22 問 21 で各選択肢を選んだ理由



	きめ細やかな指導	1人ひとりの活動機会を確保しやすい	人間関係が深まりやすく、縦の交流も生まれる	施設等余裕をもって利用	社会性や協調性が身に付けられる	人間関係に変化を持たせる	競争意識が高まり、たくましく育める	学校行事が活発になる	様々な部活動	専門の先生	その他
2つ以上の学年が一緒に学ぶ学級	24%	16%	16%	5%	8%	11%	5%	0%	8%	8%	0%
1学級	45%	21%	0%	3%	7%	7%	3%	3%	0%	3%	7%
2～3学級	28%	13%	7%	7%	14%	12%	5%	4%	3%	5%	1%
4～6学級	16%	6%	5%	3%	21%	16%	10%	8%	8%	6%	1%
7～8学級	10%	3%	3%	1%	21%	18%	11%	7%	14%	13%	0%
9学級以上	18%	3%	0%	3%	19%	12%	9%	6%	8%	21%	2%

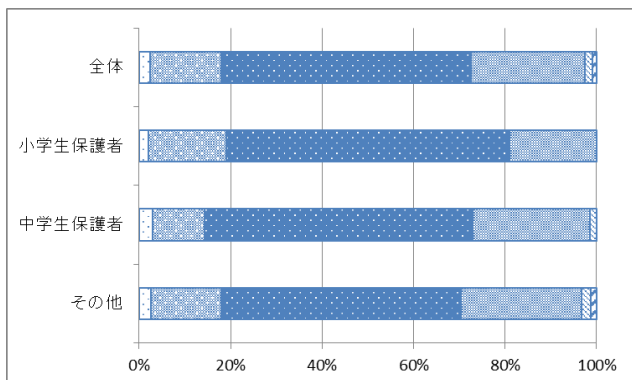


	きめ細やかな指導	1人ひとりの活動機会を確保しやすい	人間関係が深まりやすく、縦の交流も生まれる	施設等余裕をもって利用	社会性や協調性が身に付けられる	人間関係に変化を持たせる	競争意識が高まり、たくましく育める	学校行事が活発になる	様々な部活動が可能	専門の先生に教えてもらえる	その他
全体	18%	7%	5%	3%	19%	15%	9%	7%	8%	8%	1%
小学生保護者	22%	9%	5%	3%	18%	11%	12%	6%	8%	6%	0%
中学生保護者	22%	11%	5%	4%	17%	10%	10%	7%	9%	6%	0%
その他	16%	6%	5%	3%	19%	16%	8%	7%	8%	9%	2%

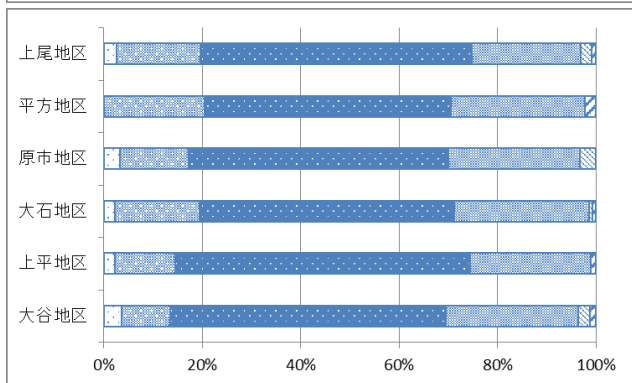


	きめ細やかな指導	やさしい1人ひとりの活動機会を設定し	人間関係が深まりやすく、縦の交流も生まれる	施設等余裕をもって利用	以上の社会性や協調性が身に付けられる	人間関係に変化を持たせる	競争意識が高まり、たくましさ	学校行事が活発になる	様々な部活動が可能	専門の先生に教えてもらえる	その他
上尾地区	18%	7%	6%	3%	17%	15%	9%	7%	8%	9%	1%
平方地区	13%	11%	6%	5%	16%	17%	13%	5%	9%	7%	0%
原市地区	21%	9%	6%	4%	20%	12%	11%	7%	4%	4%	1%
大石地区	19%	6%	3%	3%	21%	13%	7%	6%	11%	10%	0%
上平地区	18%	6%	4%	4%	20%	14%	9%	8%	7%	7%	2%
大谷地区	14%	7%	5%	2%	20%	18%	9%	6%	8%	9%	2%

問 23 学級編成について



	19人以下	20~24人	25~34人	35~39人	40人以上	その他
全体	2%	15%	55%	25%	2%	1%
小学生保護者	2%	17%	62%	19%	0%	0%
中学生保護者	3%	11%	59%	26%	1%	0%
その他	3%	15%	52%	26%	2%	1%



	19人以下	20~24人	25~34人	35~39人	40人以上	その他
上尾地区	3%	17%	55%	22%	2%	1%
平方地区	0%	20%	50%	27%	0%	2%
原市地区	3%	14%	53%	27%	3%	0%
大石地区	2%	17%	52%	27%	1%	1%
上平地区	2%	12%	60%	24%	0%	1%
大谷地区	4%	10%	56%	27%	2%	1%

V 調査結果まとめ

1 通学距離について

小学校の理想の通学距離は、【市民】【小学生保護者】【中学生保護者】ともに「2km 未満」と回答した割合が最も多くなっている。これは、「通学距離が短いこと」「児童にとって負担の少ない」通学距離を理想とする傾向であることが伺える。

地区ごとでも、同様の傾向となっている。

中学校の理想の通学距離は、【市民】【小学生保護者】【中学生保護者】ともに「3km 未満」と回答した割合が最も多くなっている。小学生の通学距離と比較して許容できる通学距離は長くなる傾向があるものの、小学生と同様「通学距離が短いこと」「生徒にとって負担の少ない」通学距離を理想とする傾向であることが伺える。

地区ごとでは、【平方地区】【大谷地区】が他の地区と比較して、より長い距離でも許容できるとの回答の割合が高い傾向となっている。

2 希望する学校へ就学を認める制度について

小学校で希望する学校へ就学を認める制度は、【市民】【小学生保護者】は、「賛成」と「どちらかといえば賛成」を足すと 60%を超えるが、【中学生保護者】は 53%と低い傾向となっている。

地区ごとでは、【平方地区】【原市地区】が他の地区と比較して、「賛成」と「どちらかといえば賛成」を足した割合が高い傾向となっている。

「賛成」と「どちらかといえば賛成」を選んだ理由は、【市民】【小学生保護者】【中学生保護者】ともに「児童への負担が少ない」「個性にあった学校が選べる」との回答が多かった。

地区ごとでも同様の傾向となっている。

その他の意見は、「いじめとかがあった時の逃げる場所としても良いのでは」や「いじめにあった時にいつまでの同じ学校で苦しむことのないようにするため」など人間関係についてが最も多かった。

「反対」と「どちらかといえば反対」を選んだ理由は、【市民】【小学生保護者】【中学生保護者】ともに「一部の学校に選択が集まる」「通学距離が長くなることで、児童の安全上の問題が生じる」「通学時間や距離を考えると、通う学校を指定したほうが児童への負担が少ない」「地域への帰属意識が薄れる」との回答が多かった。

地区ごとでも、同様の傾向となっている。

その他の意見は、「学力に差が生ずる可能性がある」や「保護者会など親の負担が倍増する」、「教員の負担が増えそう」などとなっている。

中学校で希望する学校へ就学を認める制度は、「賛成」と「どちらかといえば賛成」を選んだ割合が【中学生保護者】は 56%となっているものの、【市民】【小学生保護者】は、70%を超えている。

地区ごとでは、【平方地区】【原市地区】が他の地区と比較して、「賛成」と「どちらかといえば賛成」を選んだ割合が高い傾向となっている。

「賛成」と「どちらかといえば賛成」を選んだ理由は、【市民】【小学生保護者】【中学生保護者】ともに「生徒への負担が少ない」「個性にあった学校を選べる」との回答が多かった。特に、【中学生保護者】は、「居住区域の学区にない部活動ができる」も高い傾向がみられた。

地区ごとでも、同様の傾向となっている。

その他の意見は、「友人関係で問題が生じたら気軽に行ける」や「学級や先生に問題があり、通えない場合もある」、「人間関係のリセットができる」など人間関係についてが最も多く、その他、「教育のレベルに合った学校で学ぶことができる」、「校風やよい先生を選べる」、「本人の意思や親の希望でやりたいことができる学校を選べるのは良いと思う」、「部活指導教員が優れている方が、やりがいがある」などとなっている。

「反対」と「どちらかといえば反対」を選んだ理由は、【市民】【小学生保護者】【中学生保護者】ともに「一部の学校に選択が集まる」「通学距離が長くなることで、児童の安全上の問題が生じる」「通学時間や距離を考えると、通う学校を指定したほうが児童への負担が少ない」との回答が多かった。

地区ごとでは、ややばらつきが見られるものの、同様の回答が高い傾向となっている。

その他の意見は、「学力格差が生ずる」や「決められた環境で組織に対応できる力を養う必要があると思う」などとなっている。

3 1 学年当たりの学級数について

小学校の理想とする1学年あたりの学級数は、【市民】【小学生保護者】は、「2～3学級」が最も多く、【中学生保護者】は、「4～5学級」が最も多かった。

地区ごとでは、【大石地区】が、「4～5学級」が多いものの、他の5地区は「2～3学級」が多くなっている。

【市民】【小学生保護者】【中学生保護者】【地区別】とも、「きめ細やかな指導を受けられる」「集団の中で多様な考え方に触れ、社会性や協調性が身に付けられる」「クラス替えにより人間関係に変化を持たせることができる」との回答の割合が高い傾向にある。

「2～3学級」を選んだ理由は、「きめ細やかな指導を受けられる」が最も多く、次いで「集団の中で多様な考え方に触れ、社会性や協調性が身に付けられる」「クラス替えにより人間関係に変化を持たせることができる」の順となっている。

「4～5学級」を選んだ理由は、「クラス替えにより人間関係に変化を持たせることができる」が最も多く、ほぼ同率で「集団の中で多様な考え方に触れ、社会性や協調性が身に付けられる」、次いで「運動会や学習発表会などの学校行事が活発になる」となっている。

その他、「他のクラスの存在があることで自分もクラスへの愛着がわきやすくなる。2クラスだと対立になるが3クラスなら競争となる」や「同学年の人数が多いことにより違う考えに触れる機会が増えるため」、「クラスの人数が少ないことで1学年から6学年までの間同じようなメンバーと学習することで、いじめが起きた場合、児童本人にとり、とても辛い小学生時代となってしまいう危険性が在る」などとなっている。

中学校の理想とする 1 学年あたりの学級数は、【市民】【小学生保護者】【中学生保護者】ともに、「4~6 学級」が最も多く、次いで【市民】は、「2~3 学級」、【小学生保護者】【中学生保護者】は、「7~8 学級」となっている。特に【中学生保護者】は、「9 学級以上」との回答がその次に多くなっている。

地区ごとでは、「4~6 学級」が最も多く、次いで【上尾地区】【大石地区】は、「7~8 学級」が、【平方地区】【原市地区】【大谷地区】は、「2~3 学級」となっている。

「複式学級」「1 学級」「2~3 学級」を理想とする回答者は、「きめ細やかな指導を受けられる」が最も多く、「4~6 学級」「7~8 学級」を理想とする回答者は、「集団の中で多様な考え方に触れ、社会性や協調性が身に付けられる」が最も多く、次いで「クラス替えにより人間関係に変化を持たせることができる」となっている。「9 学級以上」を理想とする回答者は、「専門教科の先生に教えてもらえる機会が増える」が最も多くなっている。

【小学生保護者】【中学生保護者】は、「きめ細やかな指導を受けられる」が最も多く、【市民】は、「集団の中で多様な考え方に触れ、社会性や協調性が身に付けられる」が最も多くなった。

地区ごとでは、【大石地区】【上平地区】【大谷地区】は、「集団の中で多様な考え方に触れ、社会性や協調性が身に付けられる」が最も多く、【上尾地区】【原市地区】は、「きめ細やかな指導を受けられる」が最も多かった。

その他、「免許外指導がない範囲で」や「学級数よりも先生の数を考えた方が良い」、「人間関係についても選択肢があるべき」などとなっている。

4 学級編成について

【市民】【小学生保護者】【中学生保護者】ともに、「25~34 人」が最も多く、次いで「35~39 人」となっている。特に【市民】【中学生保護者】は、「35~39 人」と回答する割合が多くなっている。

地区ごとでも、同様の傾向となっている。

5 学校はどのような役割を果たしているか

「学校はどのような役割を果たしているか」のその他の意見は、「選挙の投票会場としての利用」など「投票所」としての役割が最も多く、次いで、「災害時の避難所以外求めている」など「避難所」としての役割、「幼稚園の運動会で小学校の校庭を利用している」や「一部の人のためのスポーツをする場」、「使用しない土日など教室や調理室体育館などを開放し、ボランティア・NPO等による市民交流の場に利用できないか」、「使っていない教室を一部で実施しているように公民館として開放してほしい」、「住民が利用できるように開放してほしい」、「児童数も少なくさびれた感じを強く感じる」などとなっている。

6 地域における学校の役割の中で重要なものは

「地域における学校の役割の中で重要なものは」のその他の意見は、「避難所としての役割以外はなくてはならないものではないので重要ではない」など避難所に関することとなっている。

7 限られた財源の中で、学校施設に対し今後どのような対応が必要になるのか

「限られた財源の中で、学校施設に対し今後どのような対応が必要になるのか」のその他の意見は、「他の用途でも校舎を利用し、維持費を他の予算から取得」や「高齢化に伴い、学校の一部を高齢者に開放するなど地域活動に利用」など他の用途として活用や、「再編時に他施設と統合する（小・中・幼・保・障害者施設・図書館・学童など）」、「再整備時に維持か減築か統合も考えなければならない」などとなっている。

8 小規模な学校に対する教育環境の充実に向けて

「小規模な学校に対する教育環境の充実に向けて」のその他の意見は、「子どもと老人の関わりの持てるようなものが大切では」や「他の機関や人々と交流できる環境があると、視野の広い人間になると思う」、「図書館等も学校内に入れてもっと地域交流が深まればいい」など「交流」についてや、「小規模な学校はいじめ差別の原因となる」、「全ての施設の運用は効率を一番に考えて行うべき」、「規模よりも関係する人の質による」、「何故複合化をする必要があるのか大変疑問」などとなっている。

9 大規模な学校に対する教育環境の充実に向けて

「大規模な学校に対する教育環境の充実に向けて」のその他の意見は、「教職員増員に伴う組織体制の改編や体質の改善と、生徒児童に目の行き届いた環境」や「教員が生徒に対して目の届く人数配置を望む」など「児童生徒一人ひとりに目の行き届くこと」や、「子どもの教育にとって良いと思うことを進めてほしい」、「安全な施設、質の良い教育が受けられる環境」などとなっている。

10 学校に一番必要なこと

「学校に一番必要なこと」のその他の意見は、「子どもの心を理解し、教育を進めること」や「先生の質、教員の人間性、導く姿勢、教育者への指導」など「教員について」や、「いじめゼロ」、「学力・教養」などとなっている。

1 1 全体を通じて感じたこと【抜粋】

【教育環境の充実】

- ・ICT,タブレット時代に対応できる環境を実現させてほしいです。グラウンドはゴールなど新しくしてほしい
- ・クラスが学力で決めるのが良いと思います。学力の高い生徒はエリートコースでガンガンに、学力の低い生徒はじっくり先生に教えてもらえるからです

【学校規模の適正化】

- ・学校規模については現在のままで適正化を図る必要はないと考える
- ・児童一人ひとりに教職員の目が届きやすいゆとりのある規模での教育環境を望みます
- ・自分が小中学生だった時にこうだったらよかったという視点で回答しました。多くの人と触れ合い集団の中で自分と合う友人を見つけるためにも生徒数は多いくらいが良いと思う
- ・小中学校とも大人数の方が様々な人と交流ができるため、学校の規模を大きくした方が良いと感じた

【人間関係】

- ・1学年2学級以上ないとクラス替えができなくて、クラスに馴染めない子は6年間我慢しなければならないのはかわいそう
- ・学校の学級を減らしてしまうと、いじめが始まった際、クラスを変えてもいじめが続くのではないかと心配

【学区】

- ・新しい家が沢山建っているので児童数が学区によって違うので学区を見直した方が良いと思う
- ・学区を定めず自由に選択できるようにし、学校間で競い合ってもらいたい。教員の質の向上にもつながるはず

【教員】

- ・教育委員会の在り方、校長・教頭の権限、立場の明確化
- ・教員人数減少
- ・教員の研修や勉強会など歴の長い短いに関係なく学習方法と道徳などの面の教育についての認識の共有などの機会を毎年持つ
- ・教員の負担を考えるべき、公学校が今ほど多くの役割を担う必要はない、多くの役割を担うなら、きちんと人員を確保すべき
- ・教科担当教諭だけでなく事務員や相談員、養護教諭など一人が休んでしまうと機能しなくなるような部分を強化すべき
- ・教師の質の向上、教師のひどさを認識できていない
- ・教職者の質の向上が優先されるべきことではないかと思えます
- ・学校教員の負担増加が子どもたちの教育へ影響を悪い意味で与える環境にはして欲しくない
- ・施設より教員の質が悪い
- ・児童生徒だけでなく教職員も含めて教育環境が成り立っています。教職員の労働実態にも目を向けてくださるとうれしいです
- ・市内の学校でも教師の質の偏りが大きい

アンケート調査表

公共施設（教育施設）の老朽化について考えるアンケート調査 ～ご協力のお願い～

市民の皆さまへ

常日頃から上尾市政に対しご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

皆さまは、公共施設の老朽化についてお耳にしたことはありますか。平成 24 年に起こった浜松市の吊り橋メインケーブル一部断裂や中央自動車道笹子トンネルの天井板落下事故を覚えておられる方も多いのではないのでしょうか。この事故で世間的に注目を集めるようになった公共施設の老朽化は、全国的に大きな課題となっているところです。

本市は、これまで行政サービス提供のため、多くの公共施設を整備してきました。これらは、人口が急増した昭和 40 年代から 50 年代に集中的に整備されたもので、60%以上の公共施設が築 30 年を経過しており、今後 20 年間で一斉に更新時期を迎えることが見込まれております。社会環境の大きな変化に直面する本市にとって、全ての公共施設を現状規模のまま維持管理していくことは極めて困難であり、大きな政策課題の一つとなっています。

この課題を解決するためには、従来型の個別管理による対応ではなく、経営的・長期的な視点に立った対応策について、今から検討を始める必要があります。

公共施設に寄せられる期待も大きく、公共施設の再整備を通じた豊かなまちづくりについての検討に際しては、市民の皆さまのご意見を伺いながら進めてまいりたいと考えています。その一環として、今回のアンケート調査を実施させていただくこととなりました。お忙しいところ誠に恐縮ですが、趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願いいたします。

【公共施設の老朽化について市が取り組んできたこと】

【平成 25 年度】上尾市公共施設白書の策定

<http://www.city.ageo.lg.jp/page/018114040701.html>

【平成 26 年度】上尾市公共施設等総合管理計画の策定

<http://www.city.ageo.lg.jp/page/sogokanrikeikaku.html>

【平成 27 年度】上尾市個別施設管理基本計画の策定

<http://www.city.ageo.lg.jp/page/kobetsukanrikihonkeikaku1.html>

※ アンケート、ワークショップ、パブリックコメントなど市民の皆さまと一緒に計画の策定を進めてまいりました。

1. 送付物

アンケート調査：1部 アンケート回答用紙：1部 返信用封筒（切手不要）：1枚

2. ご回答にあたって

本アンケート調査は、平成 28 年 4 月 1 日現在の住民基本台帳に掲載されている市民から 3,000 名の方を無作為抽出して調査票を送付させていただきました。ご回答いただきました内容につきましては、統計的に処理を行うとともに、上記目的以外には使用いたしません。また、回答いただいた皆様の情報や内容について、個人のご意見を特定することはありません。

巻末の参考資料をご覧ください。

3. ご回答の返信方法

ご回答いただいた調査票は、平成 28 年 9 月 26 日(月)までに切手を貼らずに投函してください。

4. 問合せ先

このアンケート調査について、ご不明な点等がございましたら下記にお問い合わせください。

上尾市 行政経営部 施設課 施設マネジメント担当

電話 048-775-5115（平日：8:30～17:15）

市の公共施設の老朽化の取組みについておたずねします。

問1 本市では、既存施設の情報や建替えにかかる費用推計について、市民の皆さまに公開しておりますが、この取組みをご存知でしたか。（1つ）

- 1：読んだことがある 2：知っているが読んだことはない 3：知らなかった

問2 本市の、公共施設の現状と課題について、どのくらい関心をお持ちですか。（1つ）

- 1：大いに関心がある 2：どちらかと言えば関心がある
3：どちらかと言えば関心がない 4：まったく関心がない

問3 公共施設の課題解決に向けて、ワークショップなど市民の皆さまと問題意識を共有し検討をする場を設けております。この様な取組みについてどのように考えますか。（1つ）

- 1：継続して実施すべき 2：どちらかと言えば実施した方が良い
3：実施しない方が良い 4：実施すべきではない

市が保有する60%以上の施設である教育施設についておたずねします。

問4 現在お住まいの地域の学校に、あなたご自身が校庭や体育館、教室を利用したり、学校ボランティア活動へ参加することで関わった経験がありますか。（1つ）

- 1：ある 2：ない 3：わからない

問5 あなたがお住まいの地域において、学校はどのような役割を果たしていると思いますか。（①~⑤それぞれ1つ ⑥は任意）

	果たしている	果たしている どちらかと言えば	果たしていない どちらかと言えば	果たしていない	わからない
① 災害時の指定緊急避難場所・指定避難場所となる場	1	2	3	4	5
② 校庭や体育館の開放によるスポーツ・レクリエーション活動の場	1	2	3	4	5
③ 運動会やお祭りなど地域のコミュニケーションの場	1	2	3	4	5
④ 児童・生徒と地域住民が交流する場	1	2	3	4	5
⑤ 地域の伝統・歴史文化を継承し地域のシンボルとなる場	1	2	3	4	5
⑥ その他（具体的に）					

問6 地域における学校の役割の中で重要だと思うものは何でしょうか。(2つ)

- 1：災害時の指定緊急避難場所・指定避難場所となる場
- 2：校庭や体育館の開放によるスポーツ活動の場
- 3：運動会やお祭りなど地域のコミュニケーションの場
- 4：児童・生徒と地域住民が交流する場
- 5：地域の伝統・歴史文化を継承し地域のシンボルとなる場
- 6：その他（具体的に）

問7 限られた財源の中で、学校施設に対し今後どのような対応が必要になるか、あなたのお考えに一番近いものを選んでください。(1つ)

- 1：現状の学校を維持する
- 2：現状の学校の統合により、維持管理費の効率化を図る
- 3：学校の減築や他の用途へ変更することで、維持管理費の効率化を図る
- 4：学校の再整備時に、その時点及び将来予測される児童数に合わせて減築する
- 5：学校の再整備時に統合を図る
- 6：その他（具体的に）

問8 国は、**小規模な学校**に対する教育環境の充実にに向けた手法について以下のような例を示していますが、上尾市として導入していくべきか、全ての手法についてお答えください。
(①~⑩それぞれ1つ ⑪は任意)

	導入すべきである	導入した方がよい どちらかと言えば	どちらともいえない	導入しない方がよい どちらかと言えば	導入すべきでない	わからない
① 近隣小中学校を一体化し、9年間を通じて一貫した教育を行うとともに、学校の規模を確保する（小中一貫校制）	1	2	3	4	5	6
② 従来の通学区域は残したまま、特定の学校について通学区域に関係なく市内のどこからでも就学を認める制度を創設し、通学区域の弾力化を行う	1	2	3	4	5	6
③ 学校間で連携して授業行事を行い、効果的な多人数指導を行う	1	2	3	4	5	6
④ 幼稚園や保育所、児童館などの児童福祉施設と小中学校施設を複合化することにより、交流の機会を増やす	1	2	3	4	5	6
⑤ 放課後児童クラブと小中学校施設を複合化することにより児童の移動時の安全を確保する	1	2	3	4	5	6
⑥ 公民館、集会所、コミュニティ施設等の社会教育施設と小中学校施設を複合化することにより、交流の機会を増やす	1	2	3	4	5	6
⑦ 老人福祉施設と小中学校施設を複合化することにより、交流の機会を増やす	1	2	3	4	5	6
⑧ 障害者福祉施設と小中学校施設を複合化することにより、交流の機会を増やす	1	2	3	4	5	6
⑨ 適正規模に満たない学校を対象として隣接する学校同士を統合し、一定の集団規模を確保する	1	2	3	4	5	6
⑩ 上記以外の施設（行政機関・民間施設等）と小中学校施設を複合化することで、利便性の向上、活性化を図る	1	2	3	4	5	6

⑪ その他（具体的に）

問9 国は、大規模な学校に対する教育環境の充実に向けた手法について以下のような例を示していますが、上尾市として導入していくべきか、全ての手法についてお答えください。

（①～④それぞれ1つ ⑤は任意）

	導入すべきである	導入した方がよい どちらかと言えば	どちらともいえない	導入しない方がよい どちらかと言えば	導入すべきでない	わからない
① 新たな学校を新設し、児童生徒数を調整する	1	2	3	4	5	6
② 児童生徒数は変えずに、現在の学校を増改築する	1	2	3	4	5	6
③ 近隣校との間で通学区域の見直しを行い、児童生徒数を調整する	1	2	3	4	5	6
④ 児童生徒数は変えずに、教頭の複数配置や各主任・主事となる教員等の複数配置など教職員数を増やす	1	2	3	4	5	6
⑤ その他（具体的に）						

問10 学校に一番必要なことはどの様なこととお考えですか。（3つ）

- 1：学校全体の雰囲気が良いこと
- 2：学校行事などで一人ひとりの活躍する場が多いこと
- 3：上級生と下級生の仲が良いこと
- 4：少人数授業により行き届いた指導を行うこと
- 5：新しい施設（建物）
- 6：新しい設備（パソコン室など）
- 7：集団の中で、多様な考え方に触れ、社会性や協調性を身につけられること
- 8：クラス替えにより人間関係に変化を持たせることができ、友達もたくさんできること
- 9：競争意識が高まり、児童が互いに切磋琢磨し、たくましさ等が育めること
- 10：クラブ活動などの選択肢が多いこと
- 11：その他（具体的に）

問11 小学校の通学距離について伺います。あなたが許容できる通学距離はどの程度ですか。（1つ）

- 1：2km未満
- 2：3km未満
- 3：4km未満
- 4：5km未満
- 5：新しい施設であれば遠くても構わない
- 6：わからない

問12 中学校の通学距離について伺います。あなたが許容できる通学距離はどの程度ですか。（1つ）

- 1：2km未満
- 2：3km未満
- 3：4km未満
- 4：5km未満
- 5：6km未満
- 6：新しい施設であれば遠くても構わない
- 7：わからない

問13 小学校で希望する学校へ就学を認める制度について、あなたのお考えに近いものはどれですか。（1つ）

- 1：賛成である 2：どちらかと言えば賛成である
3：どちらかと言えば反対である 4：反対である 5：わからない

問14 問13で「賛成である」「どちらかと言えば賛成である」と回答された方におたずねします。
あなたのお考えに近いものはどれですか。(2つ)

- 1：通学時間や距離を考えると、隣接の学校に通うほうが児童への負担が少ないため
2：小規模校の特徴を生かしたきめ細やかな指導・支援を受けられるため
3：学校間で競い合い、創意工夫でより良い教育環境になっていく可能性があるため
4：同じ幼稚園、保育園からの入学が多く、友人関係が安定するため
5：子どもが自分の個性に合った学校で学ぶことができるようになるため
6：その他(具体的に)

問15 問13で「反対である」「どちらかと言えば反対である」と回答された方におたずねします。
あなたのお考えに近いものはどれですか。(2つ)

- 1：通学時間や距離を考えると、通う学校を指定したほうが児童への負担が少ないため
2：一部の学校に選択が集まるため
3：学校間での競争を助長する可能性があるため
4：学区外の学校へ通学することにより、子どもを対象とした地域行事へ参加せず、地域への
 帰属意識が薄れるため
5：通学時間や距離が長くなることによって、児童の安全上の問題が生じるため
6：保護者と学校との関係が希薄になり、学区外の保護者による学校の活動への参画が限られ
 るため
7：その他(具体的に)

問16 中学校で希望する学校へ就学を認める制度について、あなたのお考えに近いものはどれですか。
(1つ)

- 1：賛成である 2：どちらかと言えば賛成である
3：どちらかと言えば反対である 4：反対である 5：わからない

問17 問16で「賛成である」「どちらかと言えば賛成である」と回答された方におたずねします。
あなたのお考えに近いものはどれですか。(2つ)

- 1：通学時間や距離を考えると、隣接の学校に通うほうが生徒への負担が少ないため
2：小規模校の特徴を生かしたきめ細やかな指導・支援を受けられるため
3：学校間で競い合い、創意工夫でより良い教育環境になっていく可能性があるため
4：居住区域の学校にない部活動ができるため
5：同じ小学校からの入学が多く、友人関係が安定するため
6：子どもが自分の個性に合った学校で学ぶことができるようになるため
7：その他(具体的に)

問18 問16で「反対である」「どちらかと言えば反対である」と回答された方におたずねします。
あなたのお考えに近いものはどれですか。(2つ)

- 1：通学時間や距離を考えると、通う学校を指定したほうが生徒への負担が少ないため
2：一部の学校に選択が集まるため
3：学校間での競争を助長する可能性があるため
4：学区外の学校へ通学することにより、子どもを対象とした地域行事へ参加せず、地域への
 帰属意識が薄れるため
5：通学時間や距離が長くなることによって、生徒の安全上の問題が生じるため

- 6：保護者と学校との関係が希薄になり、学区外の保護者による学校の活動への参画が限られるため
- 7：その他（具体的に）

問 19 国は、小学校では、1 学年 2 学級以上が望ましいとの考えを示しております。あなたが許容できる、小学校の 1 学年あたりの学級数は何学級ですか。（1 つ）

- 1：2 つ以上の学年が一緒に学ぶ学級 2：1 学級 3：2~3 学級
- 4：4~5 学級 5：6 学級以上

問 20 上記を選んだ理由は为什么呢。（2 つ）

- 1：児童一人ひとりに教職員の目が届きやすく、きめ細やかな指導を受けられる
- 2：学校行事やクラブ活動等において、児童一人ひとりの個別の活動機会を設定しやすい
- 3：児童相互の人間関係が深まりやすく、異なった学年との縦の交流も生まれやすい
- 4：運動場・体育館などの施設や特別教室、教材備品など余裕をもって利用できる
- 5：集団の中で、多様な考え方に触れ、社会性や協調性が身につけられる
- 6：クラス替えにより人間関係に変化を持たせることができ、友達もたくさんできる
- 7：競争意識が高まり、児童が互いに切磋琢磨し、たくましさ等が育める
- 8：運動会や学習発表会などの学校行事が活発になる
- 9：その他（具体的に）

問 21 国は、中学校では、1 学年 2 学級以上が必要であり、免許外指導（国語の教員が数学を教えるなど）をなくすためには少なくとも 9 学級以上を確保すること望ましいとの考えを示しております。あなたが許容できる、中学校の 1 学年あたりの学級数は何学級ですか。（1 つ）

- 1：2 つ以上の学年が一緒に学ぶ学級 2：1 学級 3：2~3 学級
- 4：4~6 学級 5：7~8 学級 6：9 学級以上

問 22 上記を選んだ理由は为什么呢。（2 つ）

- 1：生徒一人ひとりに教職員の目が届きやすく、きめ細やかな指導を受けられる
- 2：学校行事や部活動等において、生徒一人ひとりの個別の活動機会を設定しやすい
- 3：生徒相互の人間関係が深まりやすく、異なった学年との縦の交流も生まれやすい
- 4：運動場・体育館などの施設や特別教室、教材備品など余裕をもって利用できる
- 5：集団の中で、多様な考え方に触れ、社会性や協調性が身につけられる
- 6：クラス替えにより人間関係に変化を持たせることができ、友達もたくさんできる
- 7：競争意識が高まり、生徒が互いに切磋琢磨し、たくましさ等が育める
- 8：運動会や学習発表会などの学校行事が活発になる
- 9：様々な種類の部活動が可能となり、選択の幅が広がる
- 10：専門教科の先生に教えてもらえる機会が増える
- 11：その他（具体的に）

問 23 国は、1 クラス 40 人学級を基準と示していますが、本市の学級編成についてのお考えをお聞かせください。（1 つ）

- もっと少ない編成を希望 ⇒ 1：19 人以下 2：20～24 人
- 現在と同程度の編成が良い ⇒ 3：25～34 人 4：35～39 人
- もっと多い編成を希望 ⇒ 5：40 人以上
- その他 ⇒ 6：その他（具体的に）

あなたご自身のことについてお聞かせください。

問 2 4 あなたが回答する立場をお答えください。複数回答可。

- 1 : 小学生の保護者 2 : 中学生の保護者 3 : その他 (1・2 以外)

問 2 5 下記の図を参照し、あなたの住んでいる地域をお答えください。(1つ)

- 1 : 上尾地区 2 : 平方地区
3 : 原市地区 4 : 大石地区
5 : 上平地区 6 : 大谷地区



その他

問 2 6 全体を通じて、教育環境の充実(一定の集団規模の確保、多様な学習機会の提供等)や学校規模の適正化についてお感じになっていることがございましたら、ご自由にお答え下さい。(回答欄に書ききれない場合は、別紙でのご回答も可能です。)

市民参加について

本市では、今後の公共施設の検討にあたり、ワークショップ等の実施を予定しており、こうした市民参加の場にご参加、ご協力いただける方を募ることとしております。

この企画にご賛同いただける方に対しては、あらためてご案内させていただきたいと考えておりますので、ご了解いただける方のみ下記の記入欄にご氏名・ご連絡先をご記入ください。

※ご回答いただきました内容は、上記目的以外には使用いたしません。

今後の市民参加の企画についてのご案内のご連絡先

ふりがな	
氏名	
住所	〒
電話番号	()
e-mail	

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

今後の取組み予定

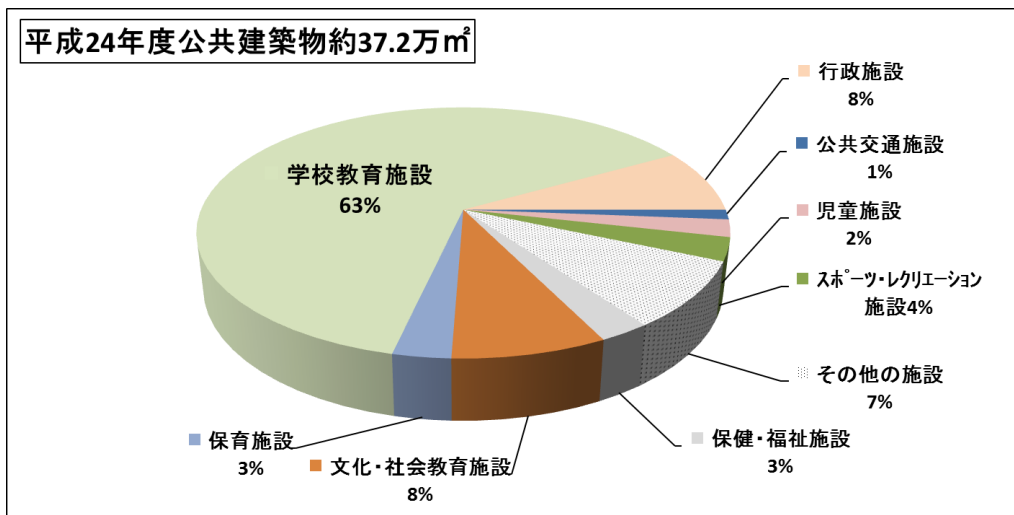
平成 28 年度	本アンケート調査の集計・公表
平成 29～32 年度	検討委員会の設置
	皆さまとのコミュニケーション期間 (市民参加型ワークショップ、市民説明会等)
平成 32 年度	一定の方針を決定

参考1 上尾市公共施設等総合管理計画より

公共建築物

本市の公共建築物の延べ床面積は約 37.2 万㎡となっており、固定資産台帳上の区分の「建物」は 691 件となっています。

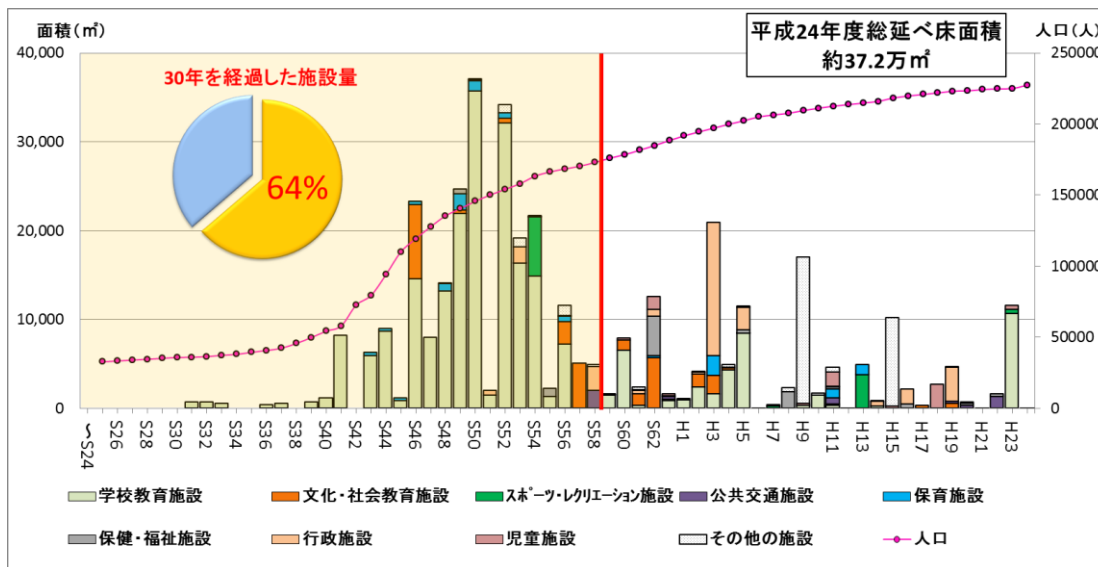
公共建築物を施設類型別に見ると、小・中学校及び幼稚園を含む学校教育施設が最も多く全体の約 63%を占め、以下、行政施設と文化・社会教育施設が約 8%と続きます。



図表 2-2 公共建築物の施設類型別延べ床面積内訳

老朽化の状況

公共建築物は、約 64%が整備から 30 年を経過しており、このうち施設類型では学校教育施設が約 8割を占めています。

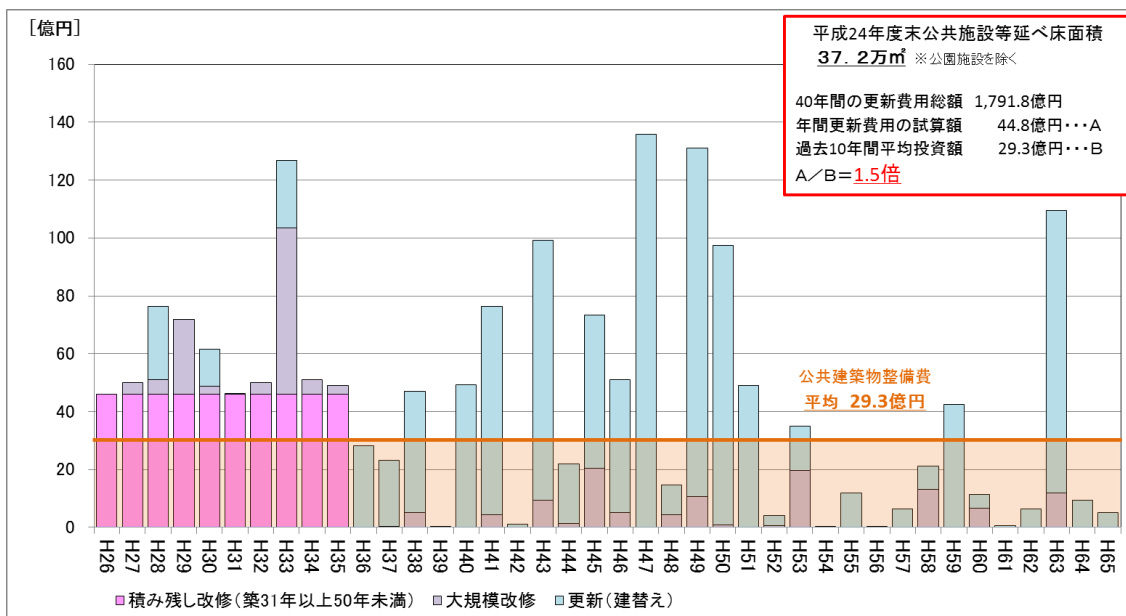


図表 2-5 公共建築物の年度別整備状況と経過年数

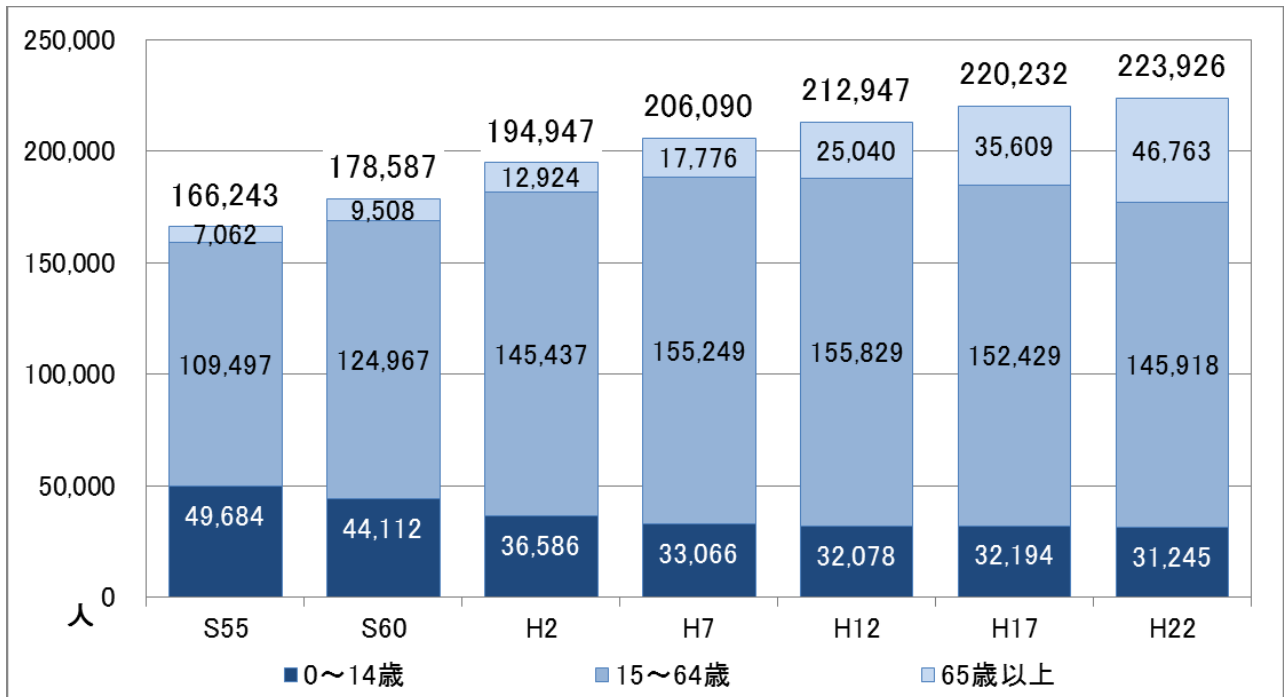
公共建築物の更新等費用の見通し

公共建築物の建替え及び大規模改修費用について、平成 24 年度固定資産台帳を基に一定の条件で試算した結果、現行の規模で維持し続けると仮定した場合に必要な財政支出は、今後 40 年間で約 1,792 億円、年平均約 45 億円になると見込まれます。

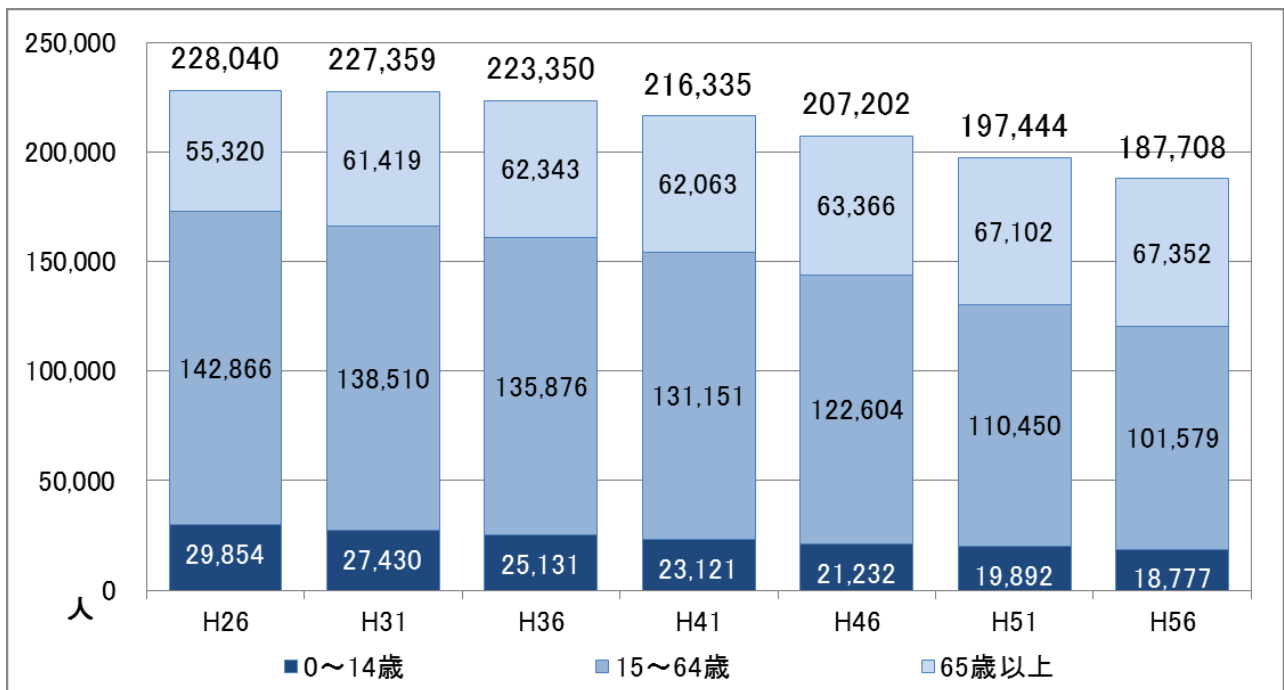
この数字は新規整備分を含んでいないにもかかわらず、過去 10 年間の公共建築物に係る投資的経費の年平均約 29.3 億円の約 1.5 倍になります。また、積み残し改修（適正な保全に必要な大規模改修未実施分への対応）や建替えがそれぞれ一定期間に集中し、特に建替えについては、平成 50 年前後にピークに達すると見込まれています。



図表 2-18 公共建築物の更新費用予測



図表 6 年齢 3 区分別人口の推移 (出典：国勢調査)



図表 20 将来推計人口の推移

平成 27 年度に策定しました「上尾市地域創生長期ビジョン・上尾市地域創生総合戦略」によると、本市の人口は平成 26 (2014) 年に 228,400 人であったところ、平成 56 年 (2044) 年には 187,708 人 (40,332 人 (17.7%) 減少) になると推計されております。

この間、0~14 歳は 29,854 人から 18,777 人へと 11,077 人 (37.1%) 減少し、15~64 歳も 142,866 人から 101,579 人へと 41,287 人 (28.9%) 減少する一方、65 歳以上は 55,320 人から 67,352 人へと 12,032 人 (21.7%) 増加すると見込まれています。

参考3 国（文部科学省）の手引きなど

■公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引きの策定について

平成27年1月27日文部科学省作成（抜粋）

（望ましい学級数の考え方）

- 小学校では、まず複式学級を解消するためには少なくとも1学年1学級以上（6学級以上）であることが必要となります。また、全学年でクラス替えを可能としたり、学習活動の特質に応じて学級を超えた集団を編成したり、同学年に複数教員を配置するためには1学年2学級以上（12学級以上）であることが望ましいものと考えられます。
- 中学校についても、全学年でクラス替えを可能としたり、学級を超えた集団編成を可能としたり、同学年に複数教員を配置するためには、少なくとも1学年に2学級以上（6学級以上）が必要となります。また、免許外指導をなくしたり、全ての授業で教科担任による学習指導を行ったりするためには、少なくとも9学級以上を確保することが望ましいものと考えられます。

人数	メリット	デメリット
少ない	<ul style="list-style-type: none"> ・きめ細かな指導がしやすくなる ・様々な活動のリーダーを務める機会が増える ・発言の機会を多く確保できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス替えが全部又は一部の学年でできない ・クラブ活動や部活動の種類が限定される ・協働的な学習で取り上げる課題に制約が生じる
多い	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒を多様な意見に触れさせることができる ・新たな人間関係を構築する力を身に付けさせることができる ・クラス替えを契機として児童生徒が意欲を新たにすることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事等において、係や役割分担のない子どもが現れる可能性があるなど、一人一人が活躍する場や機会が少なくなる場合がある ・集団生活においても同学年の結び付きが中心となり、異学年交流の機会が設定しにくくなる場合がある

■公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律

第3条第2項 公立の小学校又は中学校の一学級の児童又は生徒の数の基準は、次の表の上欄に掲げる学校の種類及び同表の中欄に掲げる学級編制の区分に応じ、同表の下欄に掲げる数を標準として、都道府県の教育委員会が定める。

学校の種類	学級編成の区分	1学級の児童又は生徒の数
小学校	同学年の児童で編成する学級	四十人（第一学年の児童で編成する学級にあつては、三十五人）
	二の学年の児童で編成する学級	十六人（第一学年の児童を含む学級にあつては、八人）
中学校	同学年の児童で編成する学級	四十人
	二の学年の児童で編成する学級	八人

■義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令

第4条第1項第1号 学級数が小学校及び中学校にあつてはおおむね12学級から18学級まで、・・・であること。

第4条第1項第2号 通学距離が、小学校にあつてはおおむね4キロメートル以内、中学校・・・にあつてはおおむね6キロメートル以内であること。

■学校教育法施行規則

第41条 小学校の学級数は、12学級以上18学級以下を基準とする。ただし、地域の実態その他により特別の事情があるときは、この限りではない。

第79条 第41条から・・・までの各規定は、中学校に準用する。

■文部科学省新教育システム開発プログラム「通学制限に関わる児童生徒の心身の負担に関する調査研究」(平成 20 年)

小学校 5 年生と中学校 2 年生を対象に、通学距離とストレスとの関係を調べた研究によると、小学校で 4 km 以内、中学校で 6 km 以内という通学距離の範囲においては、気象等に関する考慮要素が比較的少ない場合、ストレスが大幅に増加することは認められませんでした。

■小・中学校における学校選択制の実施状況について (平成 24 年文部科学省調査)

学校選択制を導入してよかったこと

- ・子どもが自分の個性に合った学校で学ぶことができるようになった
- ・保護者の学校教育への関心が高まった
- ・選択や評価を通じて特色ある学校づくりが推進できた
- ・人間関係・特別支援教育等、児童の状況に配慮した教育環境を提供できるようになった
- ・希望する部活に入部できた (中学校のみ)

学校選択制を導入しない理由

- ・学校と地域の連携が希薄になるおそれがある
- ・通学距離が長くなり、安全の確保が難しくなる
- ・入学者が大幅に減少し、適正な学校規模を維持できない学校が生じるおそれがある
- ・学校間の序列化や学校間格差が生じるおそれがある
- ・就学校指定の変更により個別に対応できており、導入する必要がないため

上尾市の学校教育施設の配置図

(平成28年4月1日現在)

